



2018年11月期

第3四半期 決算説明資料

ハイライト	P.2
2018年11月期 第3四半期 業績	P.5
全社 業績・トピックス	P.6
PFMサービス 業績・トピックス	P.16
MFクラウドサービス 業績・トピックス	P.26
新規サービスその他 業績・トピックス	P.36
ブランディングプロジェクトの実施	P.40
その他の戦略的取り組み	P.48
金融機関との取り組み	P.51
中長期戦略・今後の展望	P.56
Appendix	P.62

ハイライト

 Money Forward



- 第3四半期累計連結売上高は**前年同期比+62%**の31.3億円と、引き続き急速に成長。通期予想(年成長率50%~60%)の達成に向け、順調に進捗。
- サービス別売上高はPFMサービスで**+31%**、MFクラウドサービスで**+85%**と、高い成長率を維持。
- 第3四半期累計連結EBITDAは△4.1億円(前年同期比+3.0億円)。期初計画通り、第3四半期は移転に伴う一時費用が発生。
- 通期連結売上高・EBITDA見通しはそれぞれ43.5-46.5億円、△3.7-△6.7億円から変更なし。

- PFMサービスの利用者数が**700万人**を突破。
- IT導入補助金の追い風もあり、**『MFクラウドシリーズ』**販売収入の伸びが加速。
- 顧客数の拡大により、新規事業『MF KESSAI』の取扱高が急速に成長。
- 経験豊富な金融プロフェッショナルがグループに参画し、更なる成長を牽引。
- 『マネーフォワード』ブランドのさらなる強化を目指し、ブランドプロジェクトを始動。



2018年11月期
第3四半期 業績

BtoC(個人向け)・BtoB(法人向け)の両領域でサービスラインナップを拡充。

BtoC領域

PFM^{*1}サービス



自動家計簿・資産管理サービス



くらしの経済メディア



金融サービスの比較・申込みプラットフォーム

BtoB領域

MFクラウドサービス



事業者向けSaaS^{*2}型サービスプラットフォーム



クラウド記帳サービス



経営分析クラウド

新規サービス



自動貯金アプリ



お金の相談窓口



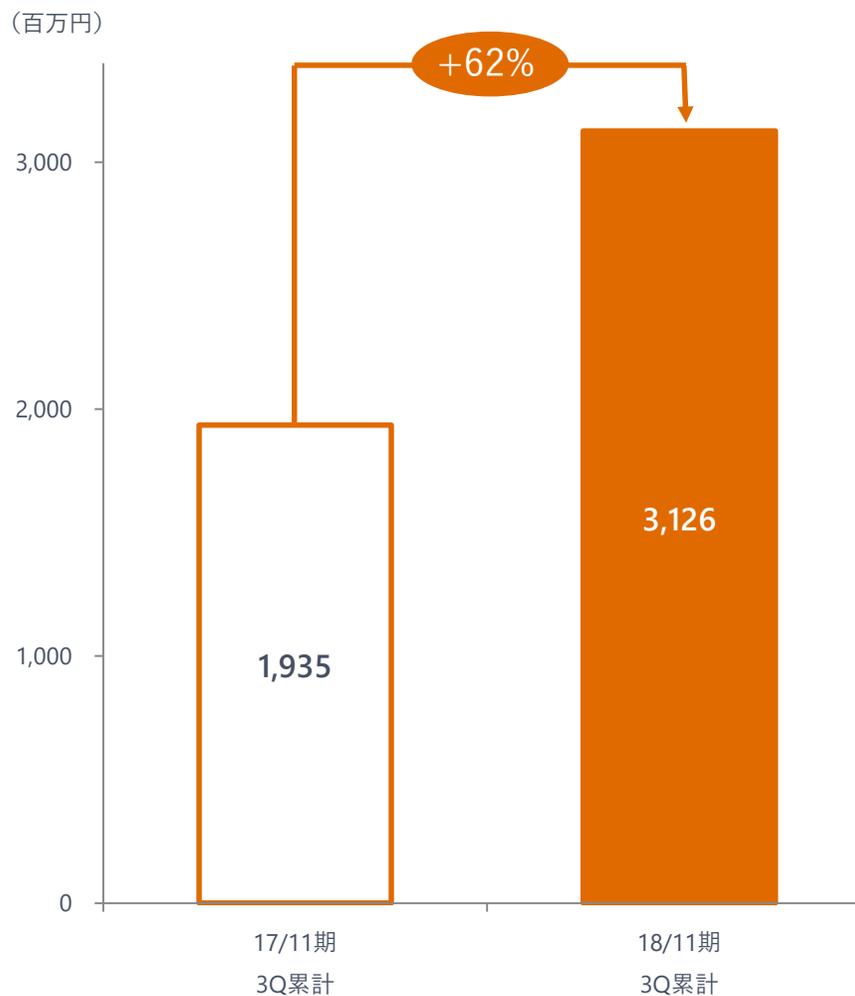
企業間後払い決済サービス

*1 PFM : Personal Financial Managementの略称

*2 SaaS : Software as a Serviceの略称

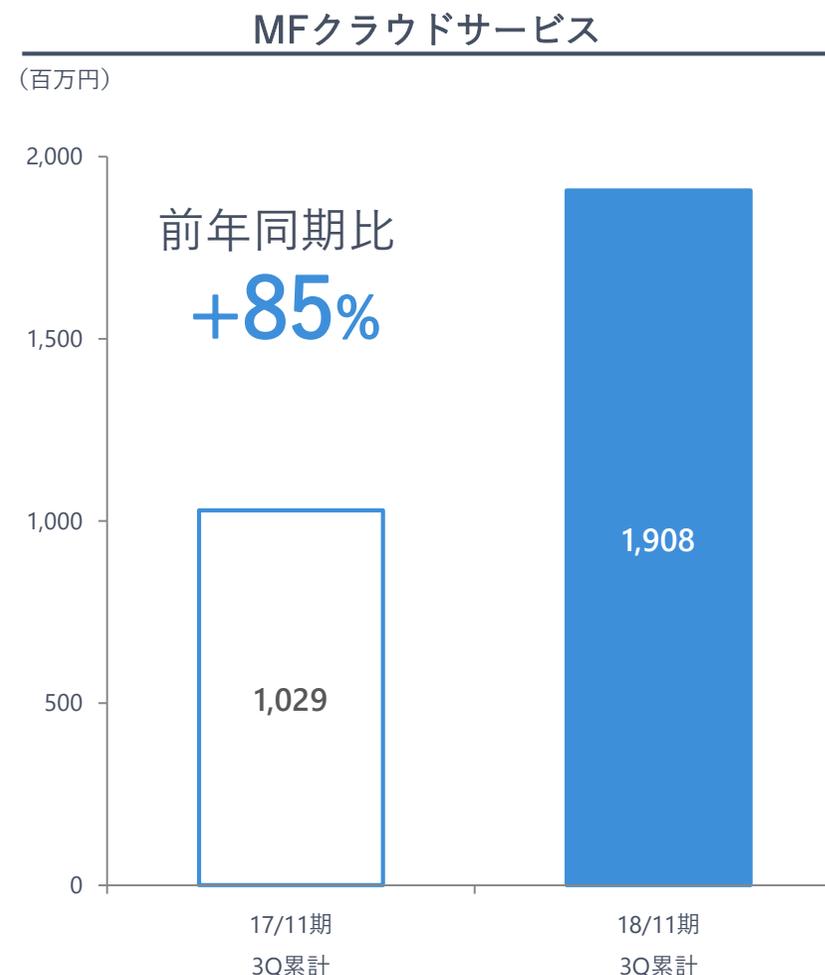
売上高(前年同期比)

連結売上高は前年同期比で**+62%**と急速に成長。



売上高(主要サービス別、前年同期比)

第3四半期累計のPFMサービス売上高は**+31%**、MFクラウドサービス売上高は**+85%**と、前年同期から共に大きく成長。

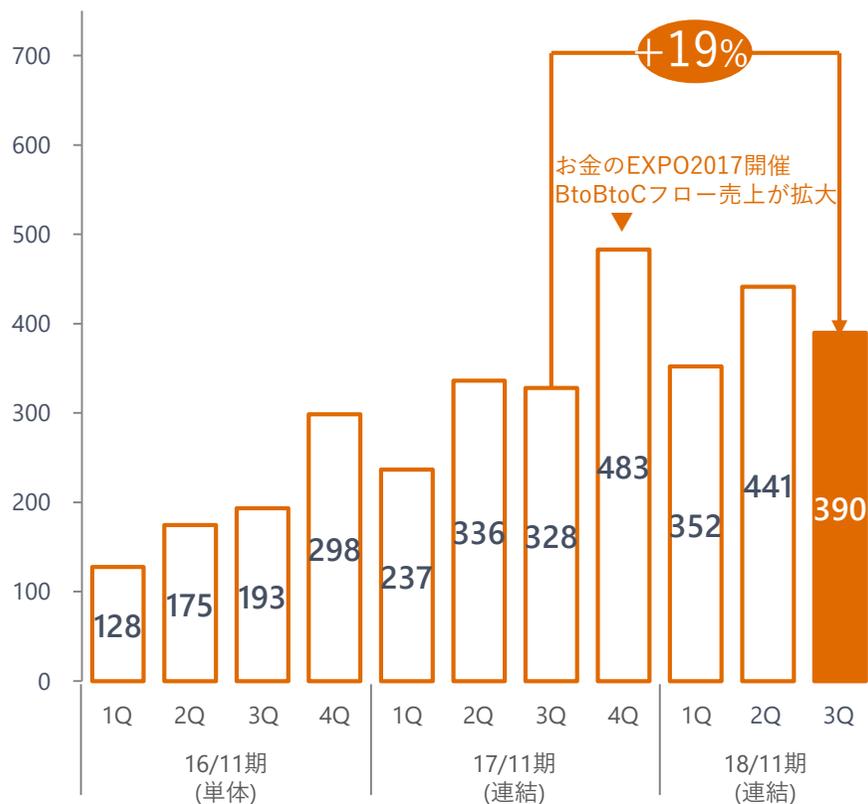


売上高(主要サービス別、四半期推移)

両サービスともに、前年同四半期比で順調に売上高が増加。
特に、MFクラウドサービスは79%の増収を達成。

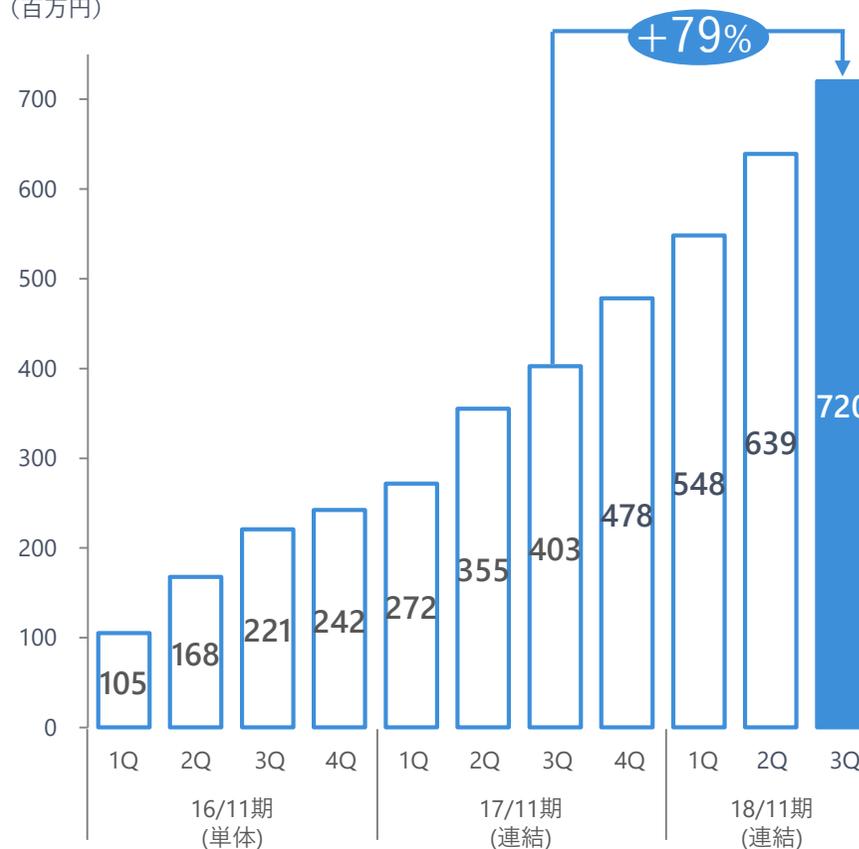
PFMサービス

(百万円)



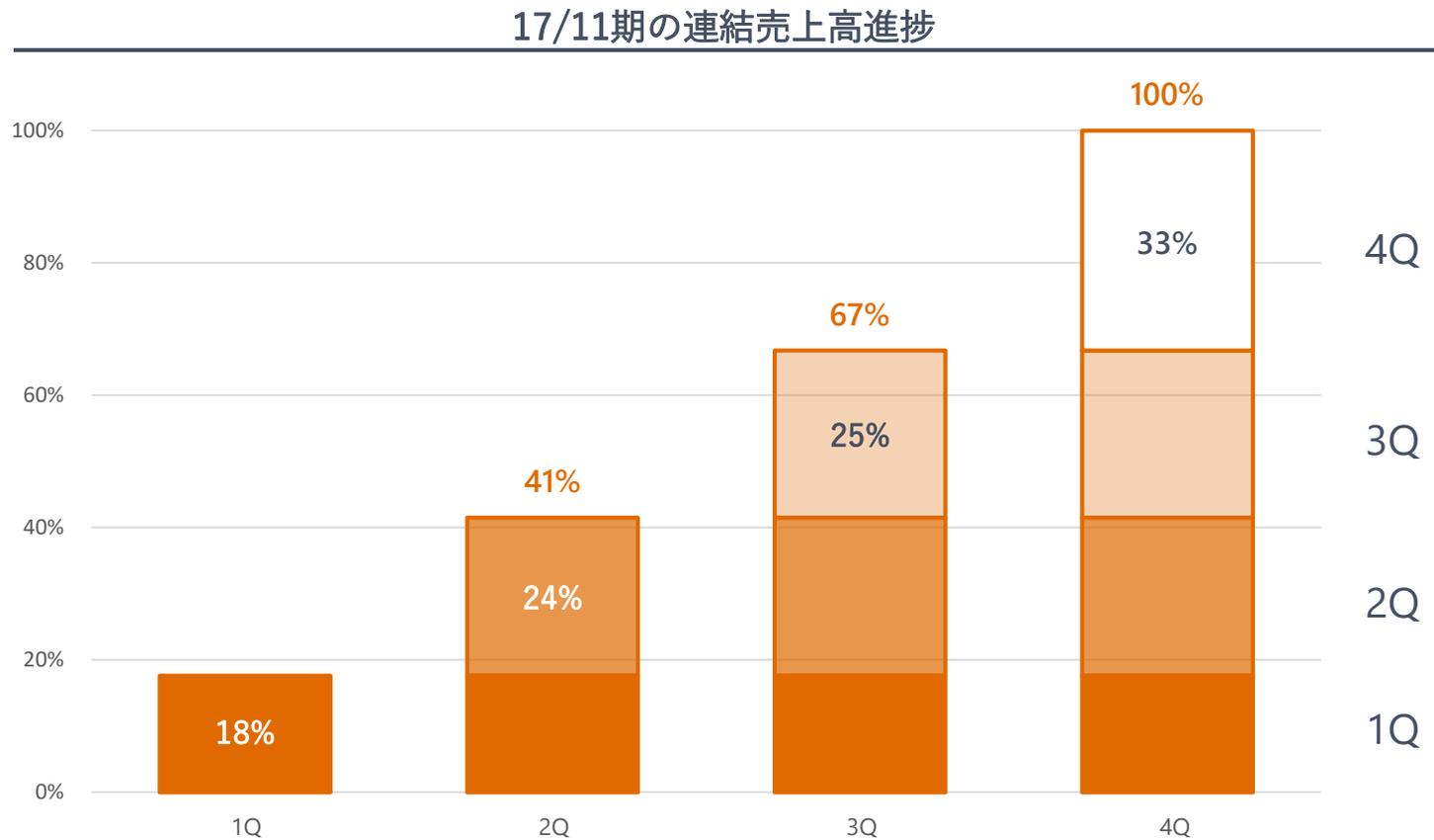
MFクラウドサービス

(百万円)



当社(SaaS型事業モデル)の売上高逓増イメージ

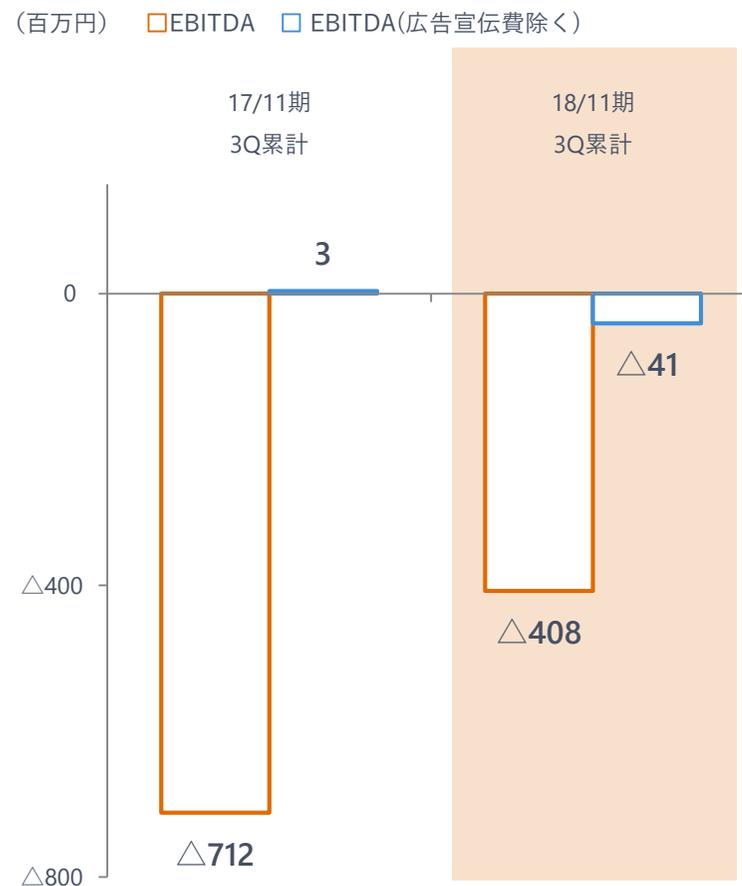
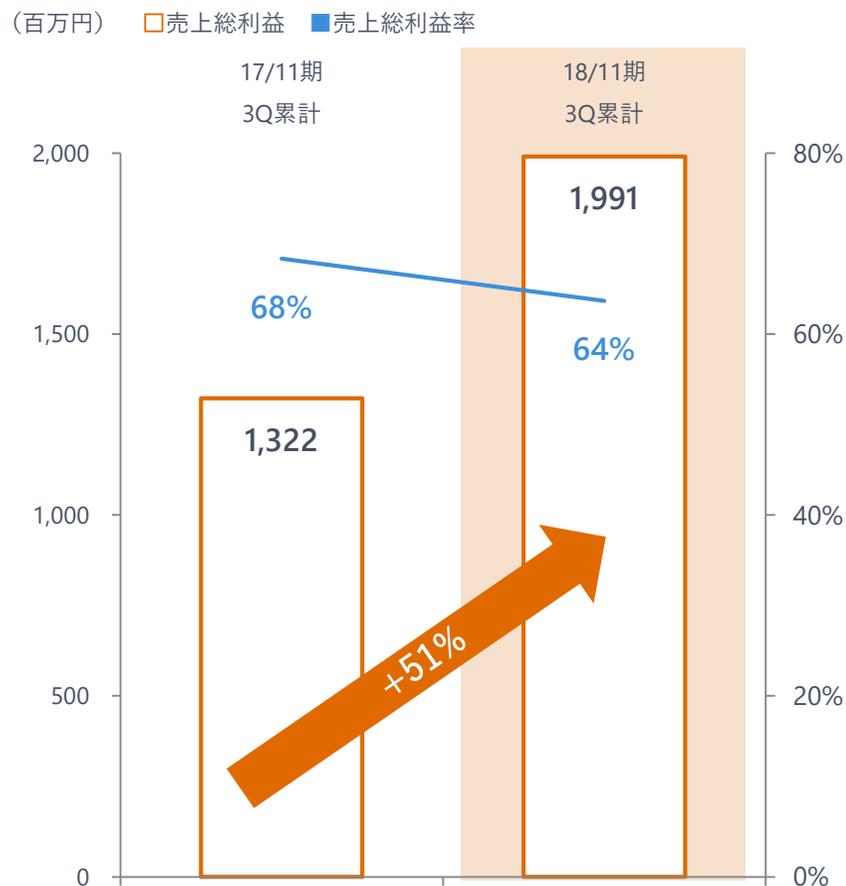
売上高の大半がストック型の売上であること、第4四半期にイベント等のフロー売上が集中することから、年度後半に向け売上が逓増する傾向。3Q累計の進捗率は67~72%*と、前年同期(67%)に比べ高い進捗率で順調に推移。



*第3四半期累計における通期見通し進捗率は、下限（43.5億円）に対して72%、上限（46.5億円）に対して67%となっている。

売上総利益 / EBITDA

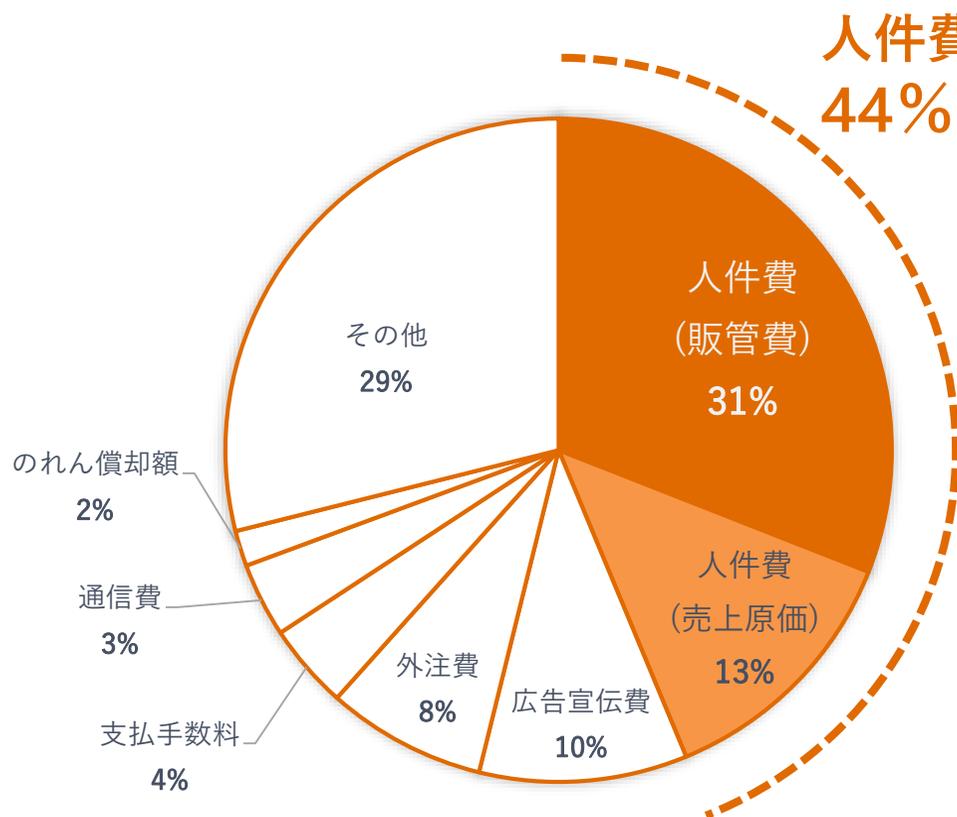
売上総利益は前年同期比で51%と大幅に増加。移転の一時費用が発生したものの、EBITDAは前年同期比で改善、広告宣伝費を除くEBITDAはほぼ横ばい。



*EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + のれん償却額

費用内訳(売上原価・販売費及び一般管理費)

売上に直接的に連動する費用は限定的で、人件費が約4割を占める。



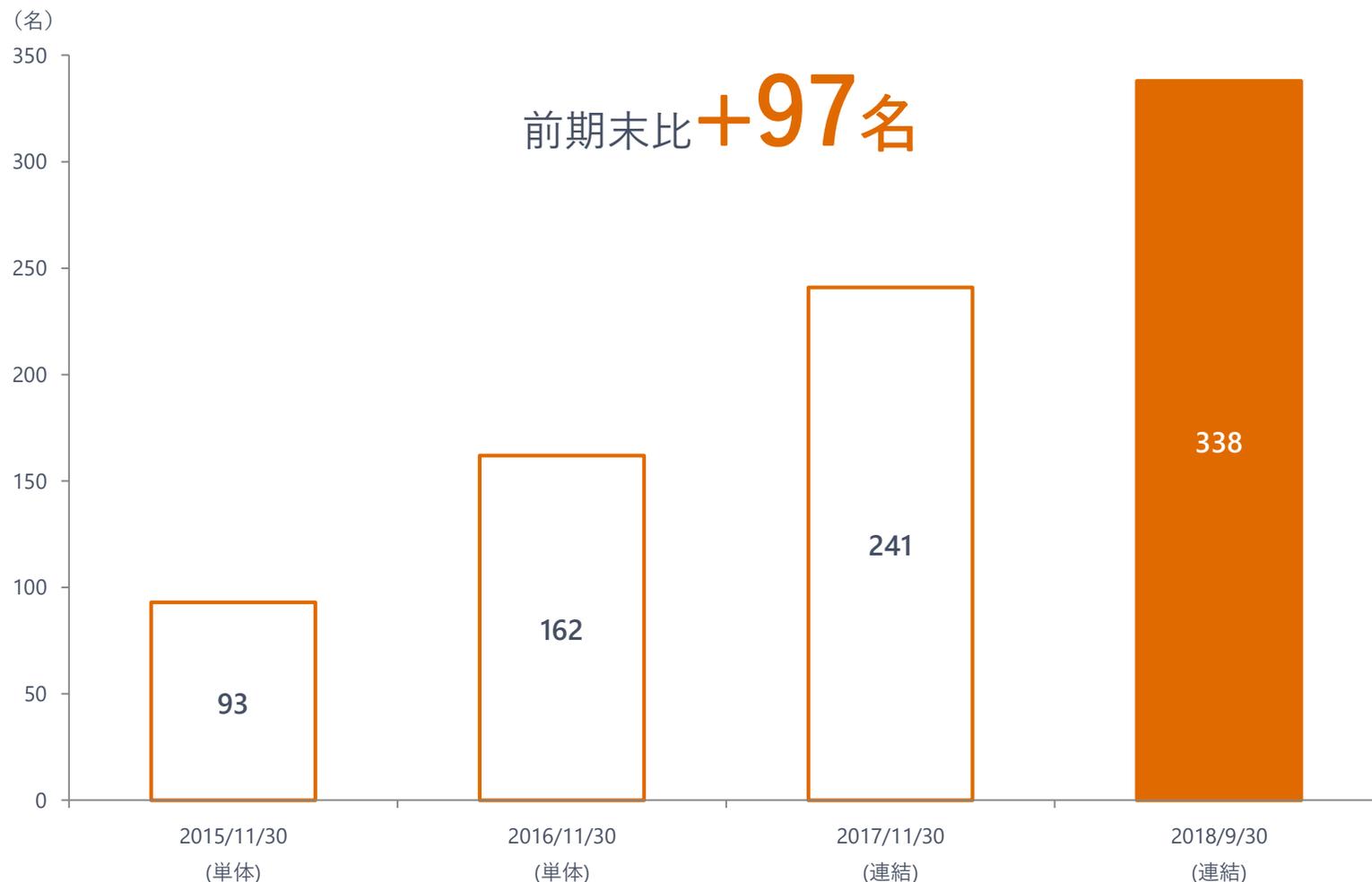
2018年11月期 第3四半期累計実績

人件費(販管費)	: 1,126百万円
人件費(売上原価)	: 464百万円
広告宣伝費(販管費)	: 367百万円
外注費(売上原価)	: 281百万円
支払手数料(売上原価)	: 150百万円
通信費(売上原価)	: 131百万円
のれん償却額(販管費)	: 63百万円
その他(売上原価・販管費)	: 1,051百万円
売上原価・販管費合計	: 3,634百万円

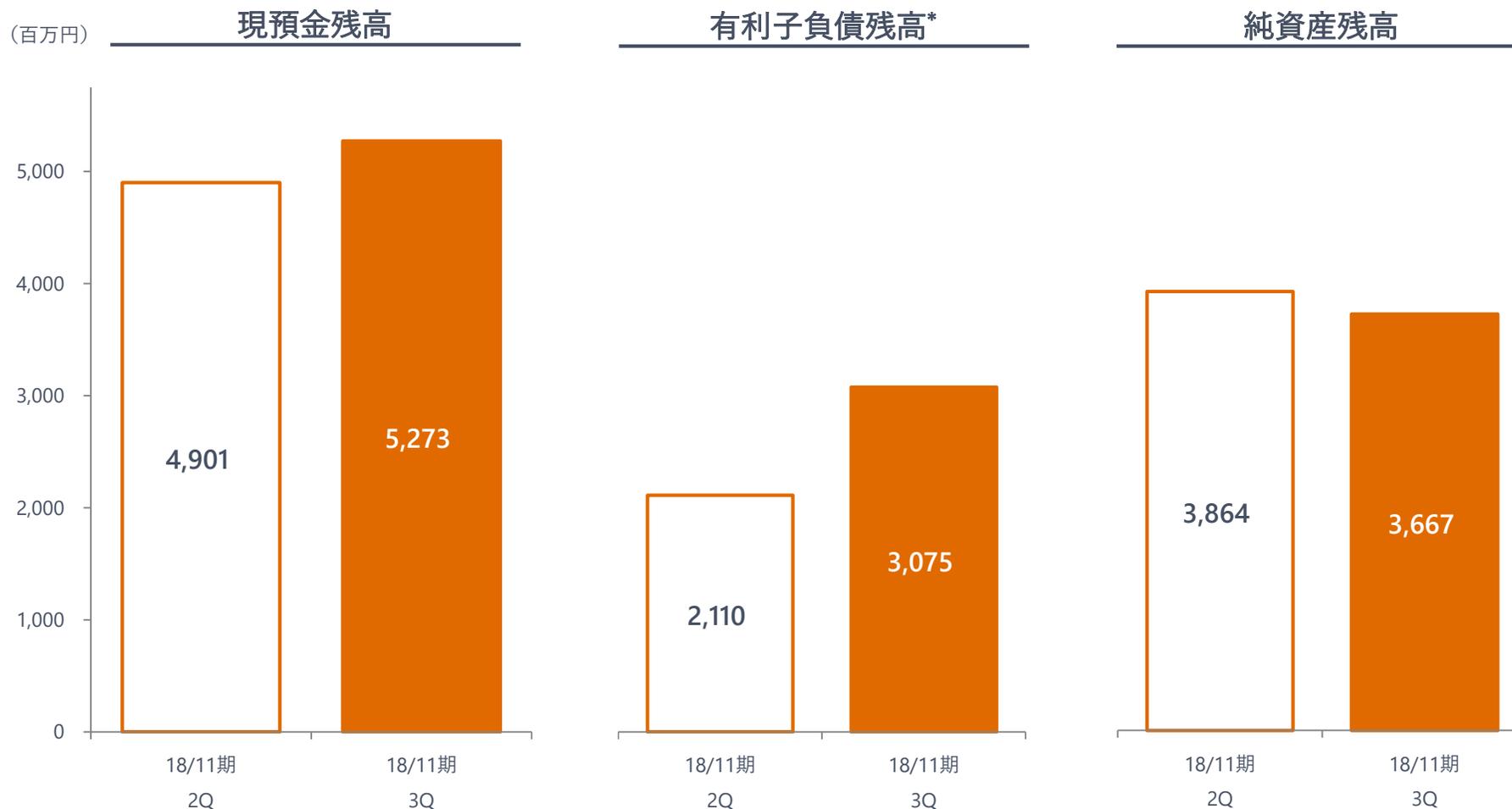
正社員数の推移(連結ベース)

13

採用は順調に推移し、正社員数は300名を突破。将来の成長に向けて、引き続き人材採用に注力。



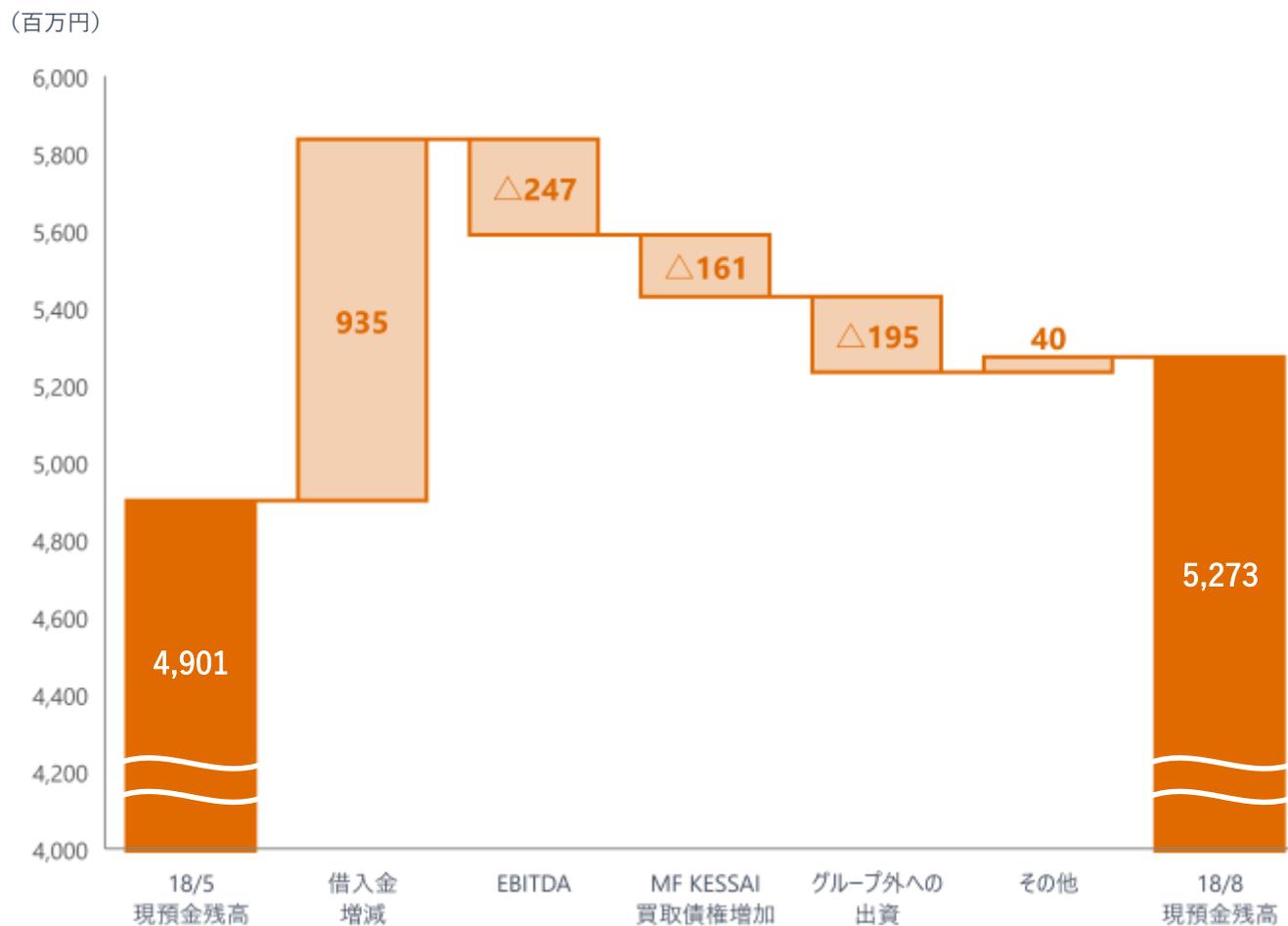
積極的な投資を継続するものの、財務基盤は安定。2018年第3四半期に長期銀行借入を実行し、流動性を強化。



*第3四半期における有利子負債残高の内訳は、1年以内返済長期借入金が5.1億円(17%)、長期借入金が25.7億円(83%)。

第3四半期現預金残高の変動要因

第3四半期は追加的な長期銀行借入を実施。『MF KESSAI』の買取債権の増加に対応し、2018年9月には新たに金融機関から10億円の借入枠を確保。



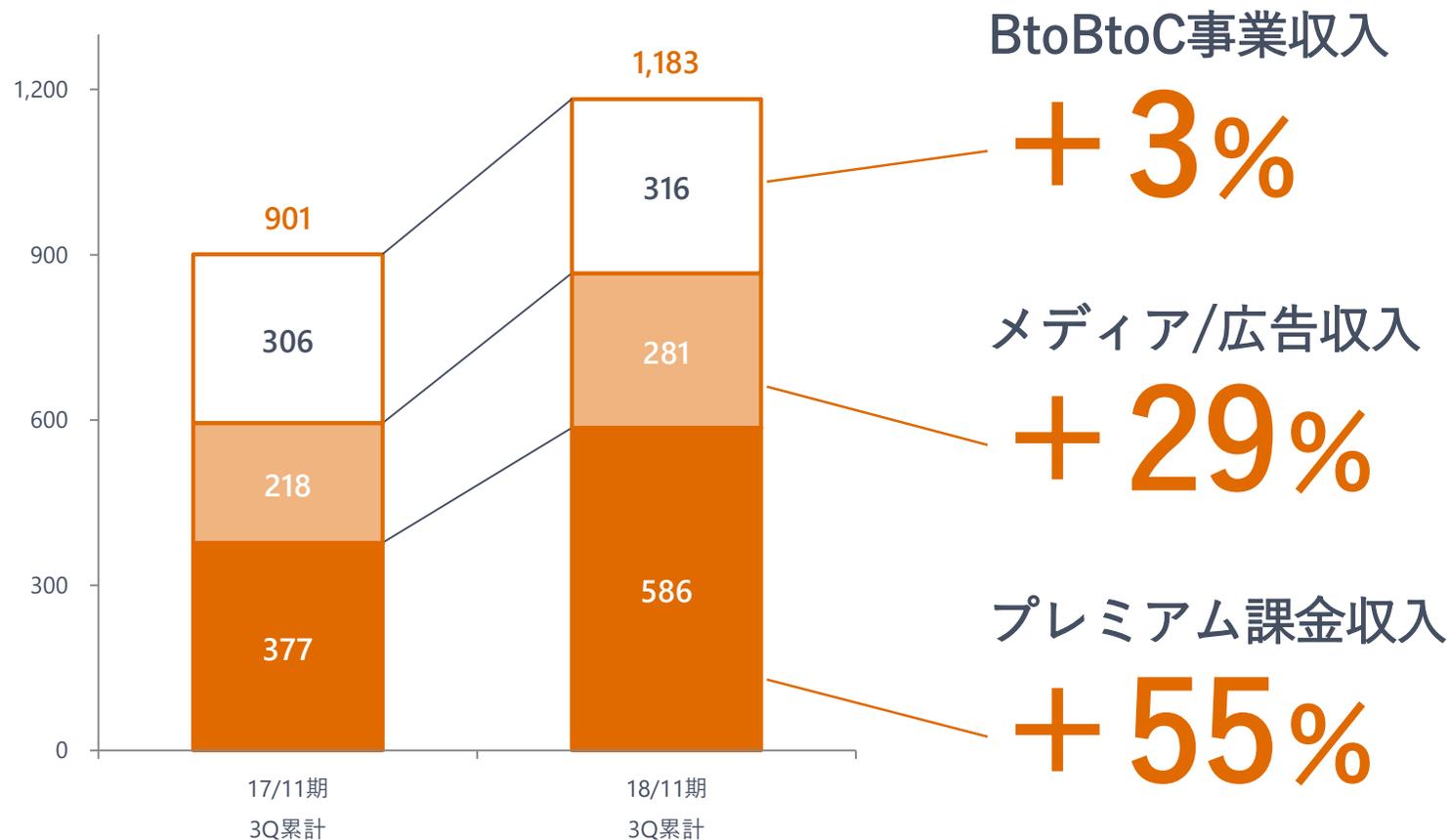
PFMサービス
業績・トピックス



PFMサービス売上高

全てのカテゴリで増収を達成。特にストック型の売上であるプレミアム課金収入は好調であり、PFMサービス売上高の約5割を占める。

(百万円) ■プレミアム課金収入 ■メディア/広告収入 □BtoBtoC事業収入



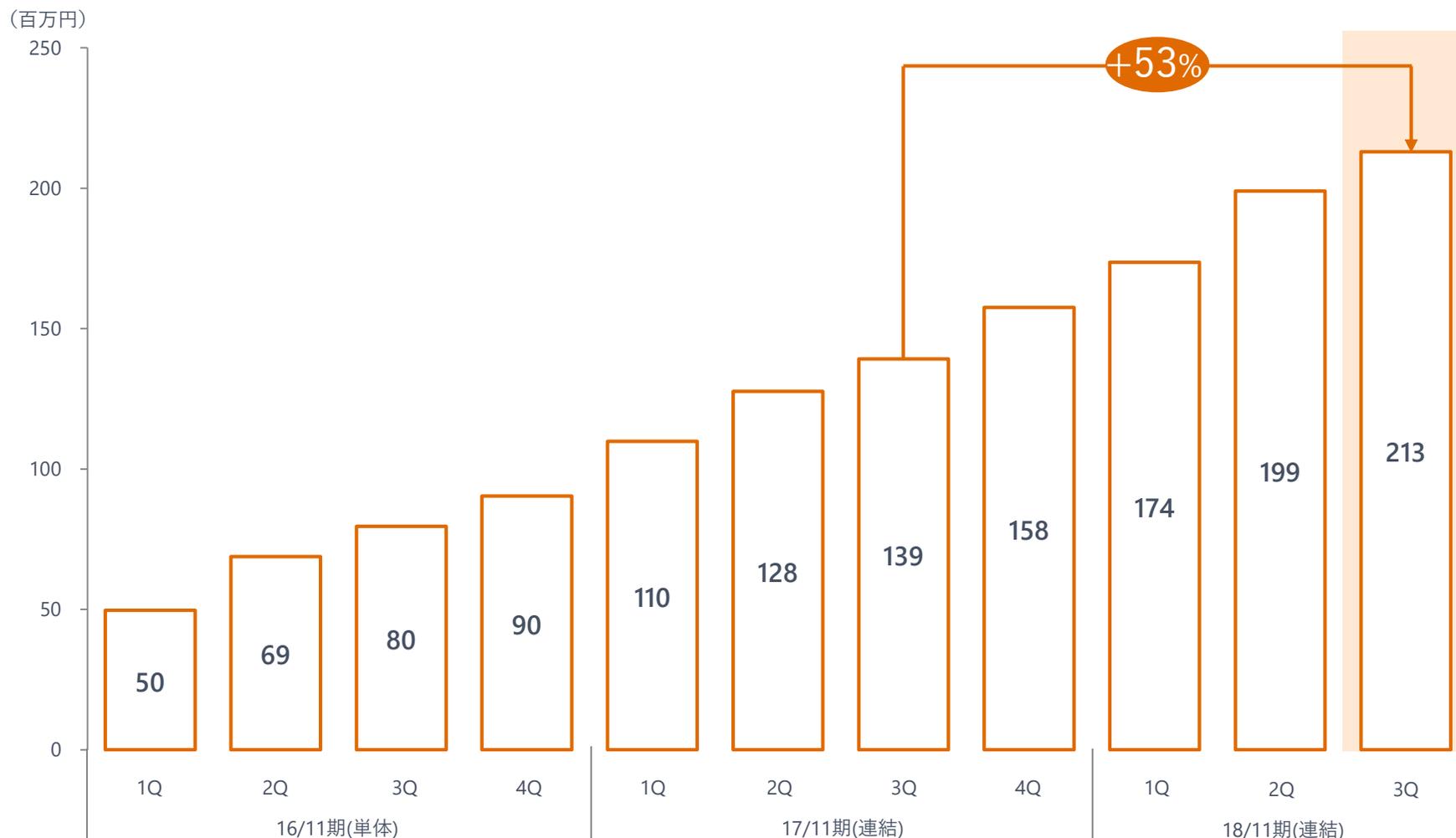
プレミアム課金収入 : 自動家計簿・資産管理サービス『マネーフォワード』の月額課金

メディア/広告収入 : 暮らしの経済メディア『MONEY PLUS』での広告収入、イベント開催（お金のEXPO等）における協賛金・参加費収入

BtoBtoC事業収入 : 金融機関・事業会社運営サービス利用者向けの開発・利用料収入

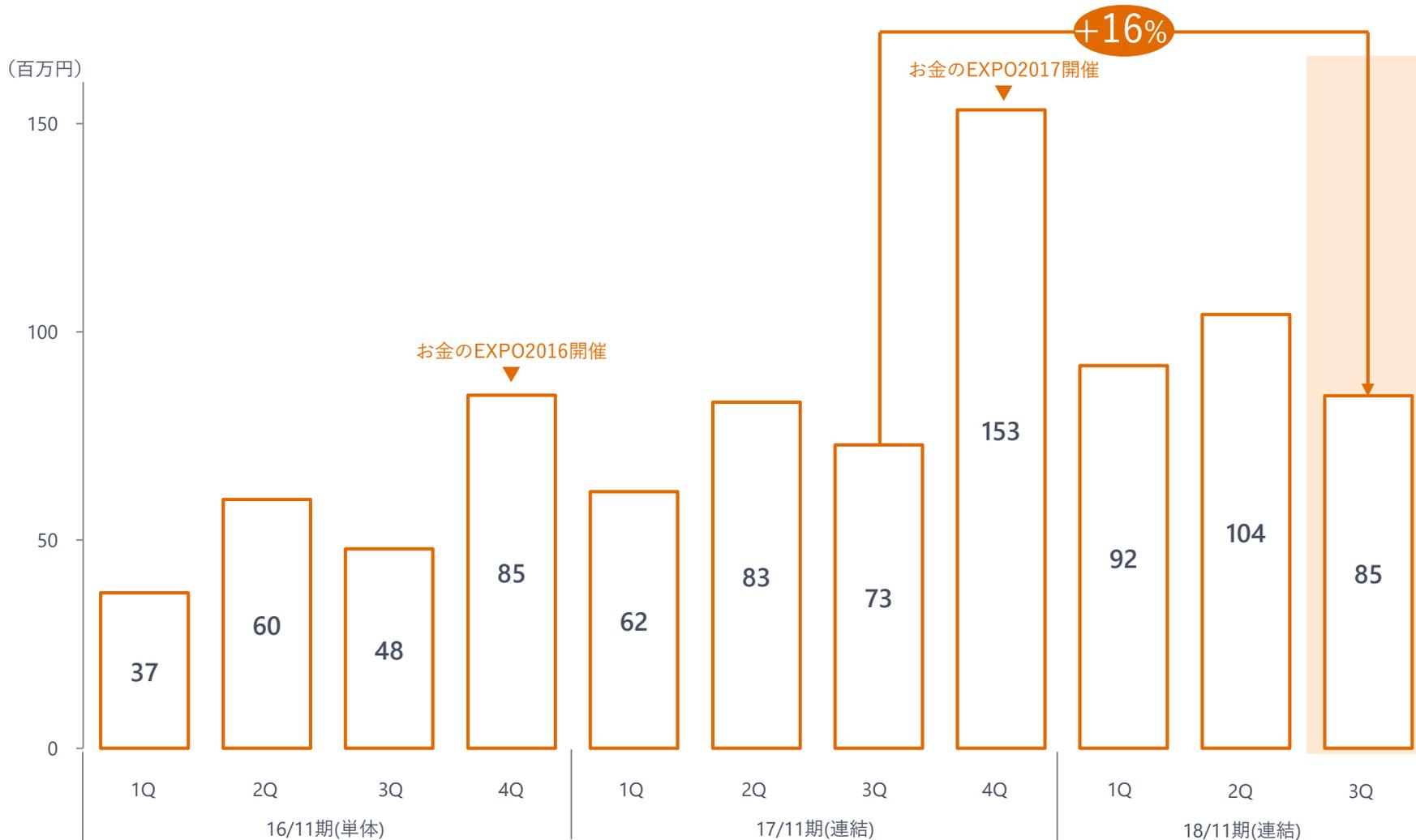
プレミアム課金収入(売上高推移)

課金ユーザー数は16万人を突破(2018年10月時点)。売上高は前年同期比で53%増と引き続き大きく成長。



メディア／広告収入(売上高推移)

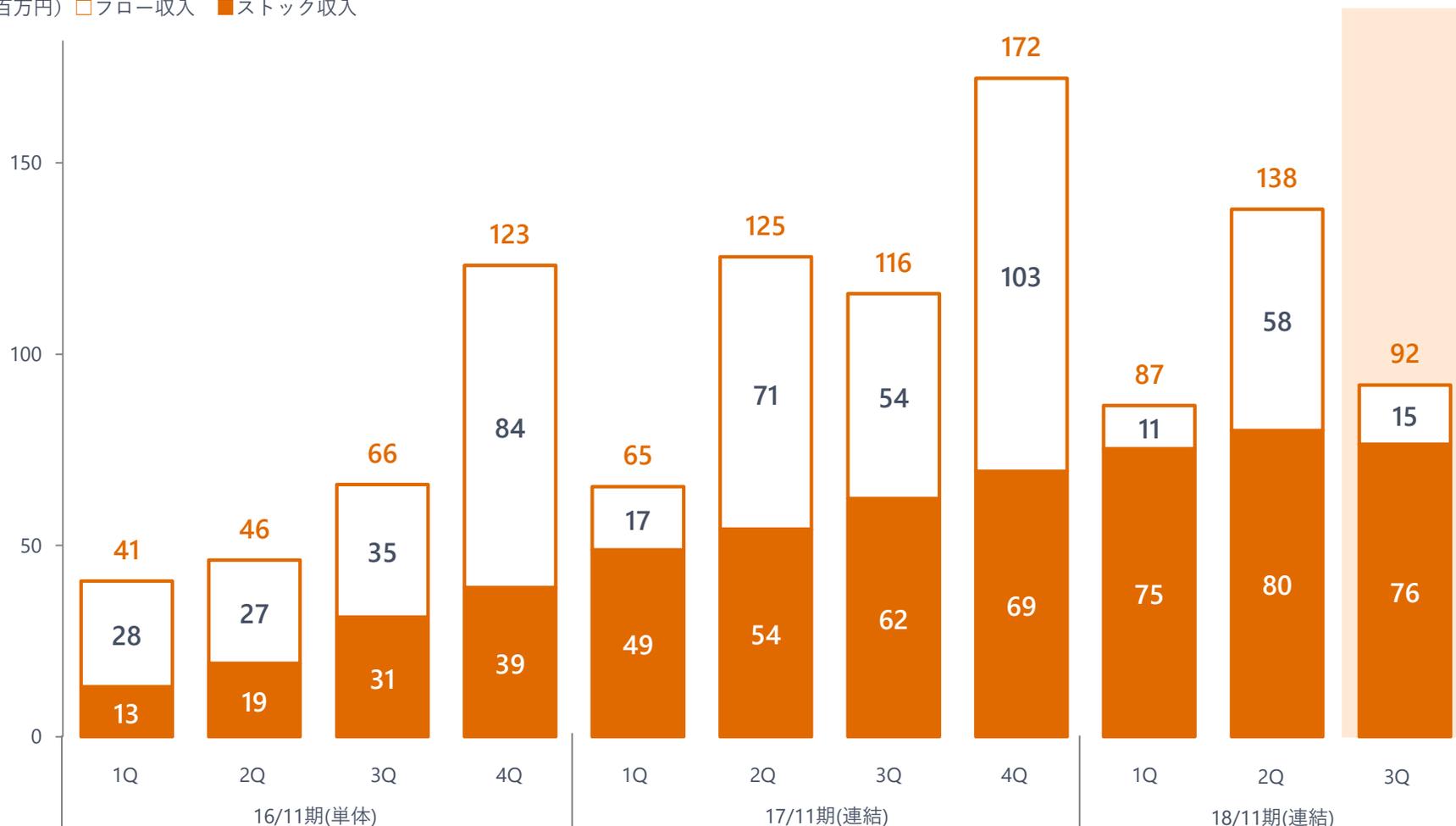
前年同期比で16%の増収を達成。第4四半期ではお金のEXPOの開催により大きく増収予定。



BtoBtoC事業収入(売上高推移)

ストック収入が一部顧客との契約内容見直しの影響により、前四半期比で減少。今期のフロー収入は第4四半期に集中する見通し。

(百万円) □フロー収入 ■ストック収入

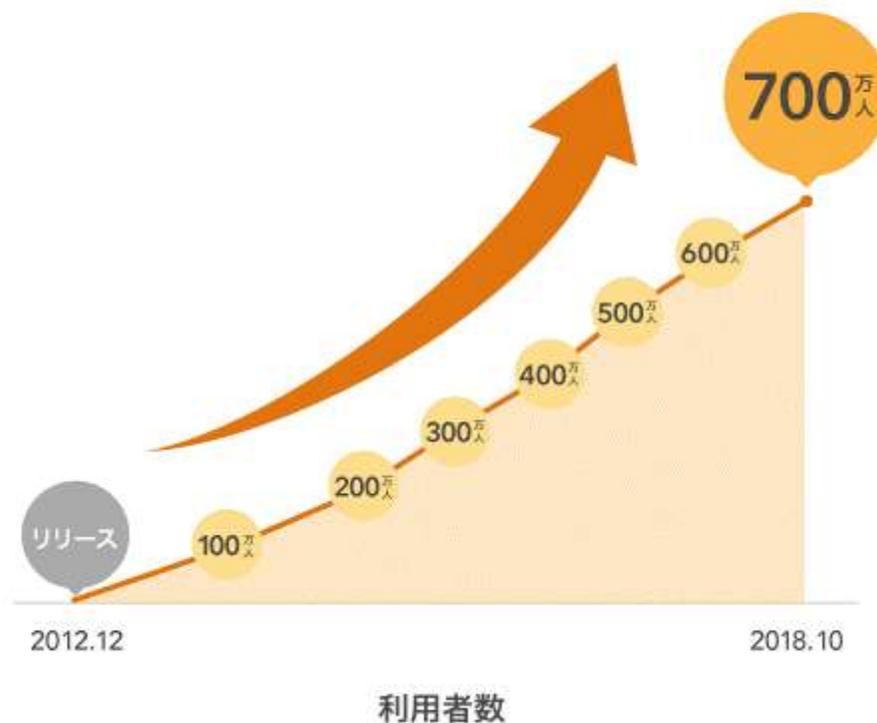


プレミアム課金(利用者数700万人突破)

21

『マネーフォワード』の利用者数は700万人、プレミアム課金ユーザー数は16万人を突破。

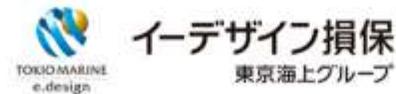
利用者数700万人突破!!



自動車保険見直しの新サービス開始

22

『マネーフォワード』アプリにて、チャットで3つの質問に回答し保険証券画像をアップロードするだけで、自動車保険の見積り比較・見直しができる新サービスを近日リリース予定。



*当サービスにおける収入はPFMサービスのメディア／広告収入として計上予定。

メディア／広告(Yahoo!ニュースへの配信開始)

23

9月より『MONEY PLUS』の記事をYahoo!ニュースにて配信開始。月間約6千万UU*のYahoo!ユーザーに向けてお金に関する情報を発信。



* Yahoo! JAPAN媒体資料<2018年5月改訂版>よりスマートフォンのみのUUを抜粋。

メディア／広告(お金のEXPO集客開始)

24

11月18日に開催する、お金のEXPO2018の集客を開始。協賛予定企業、来場予定者数は順調に増加。今回は33講演、3,000名規模の来場を想定。



小泉 文明 氏
株式会社メルカリ
取締役社長兼COO



慎 泰俊 氏
五常・アンド・
カンパニー株式会社
代表取締役社長



光本 勇介 氏
株式会社バンク
代表取締役兼CEO



横山 光昭 氏
株式会社マイエフピー代表
家計再生コンサルタント
ファイナンシャルプランナー



竹川 美奈子 氏
ファイナンシャル・
ジャーナリスト



井戸 美枝 氏
CFP／経済エッセイスト



高山 一恵 氏
ファイナンシャルプランナー



深野 康彦 氏
ファイナンシャルプランナー



風呂内 亜矢 氏
1級ファイナンシャル・
プランニング技能士



前野 彩 氏
1級ファイナンシャル・
プランニング技能士

金融機関向けのライフプラン診断ツールの開発をキャピタル・アセット・プランニング社と共同で開始。

マネーフォワード、キャピタル・アセット・プランニングと業務提携し
総合資産形成アドバイスシステムの共同開発を開始

マネーフォワード



資産形成・運用シミュレーション

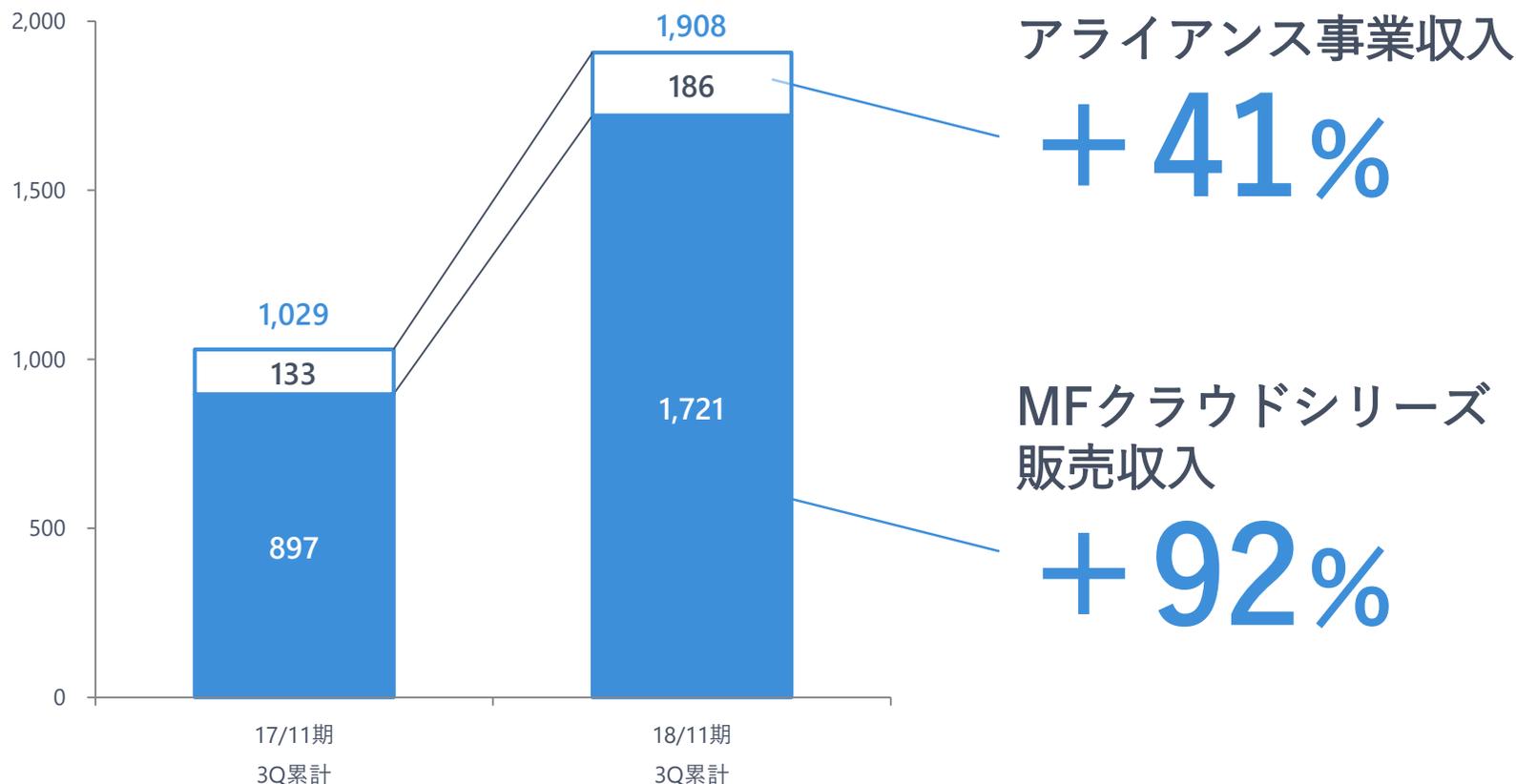


※ デザインはイメージです

MFクラウドサービス売上高

MFクラウドシリーズ販売収入が前年同期比+92%と大きく成長。

(百万円) ■MFクラウドシリーズ販売収入 □アライアンス事業収入



アライアンス事業収入
+41%

MFクラウドシリーズ
販売収入
+92%

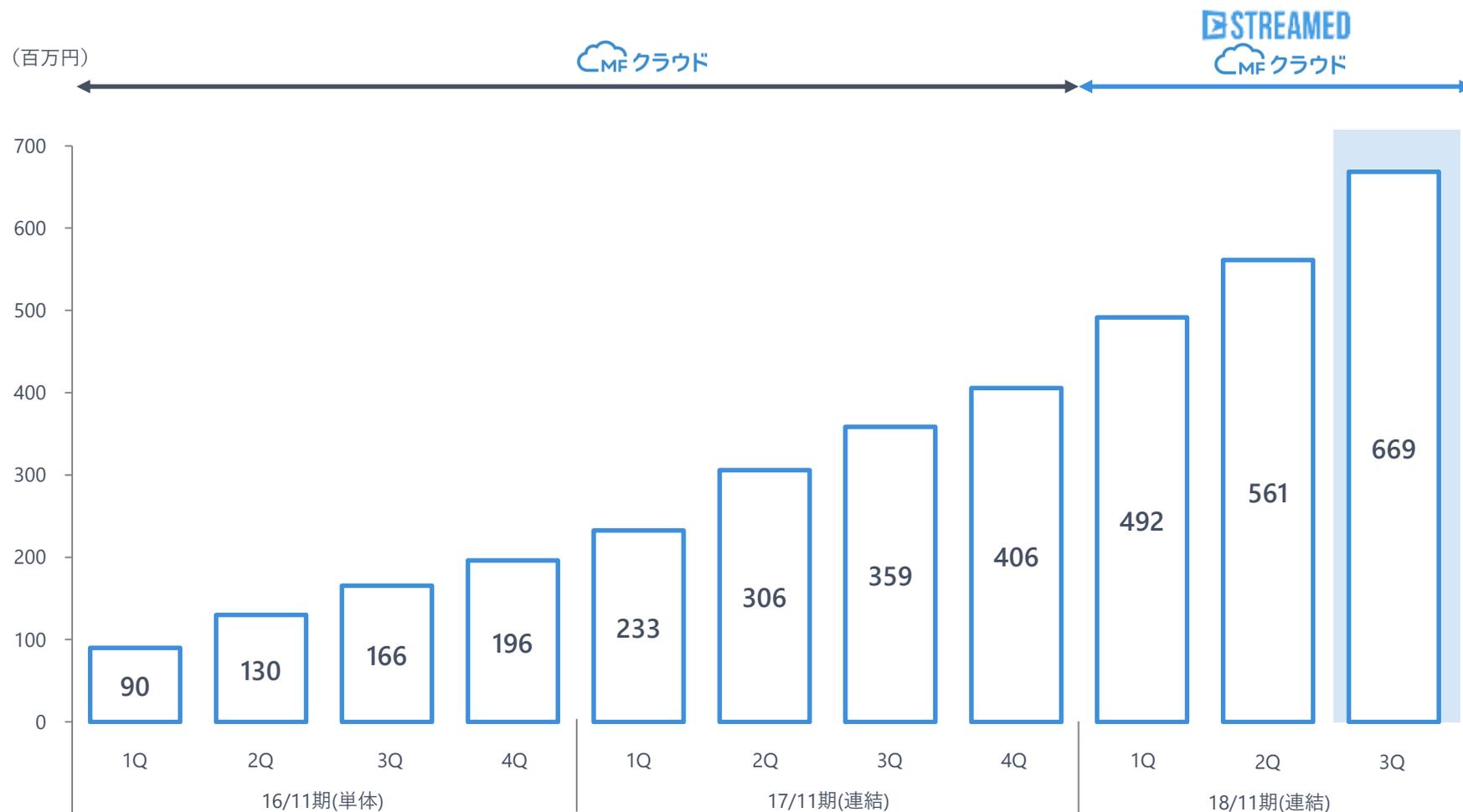
MFクラウドシリーズ販売収入：会計事務所や事業者への直接販売収入、Web上での販売収入。2017年11月にグループ化したクラビス社が提供する『STREAMED』は、当期よりMFクラウドシリーズ販売収入として計上開始。

アライアンス事業収入：『MFクラウドシリーズ』OEM提供等に伴う開発・利用料売上、イベントの協賛金・参加費収入(MFクラウドExpo等)

MFクラウドシリーズ販売収入(売上高推移)

28

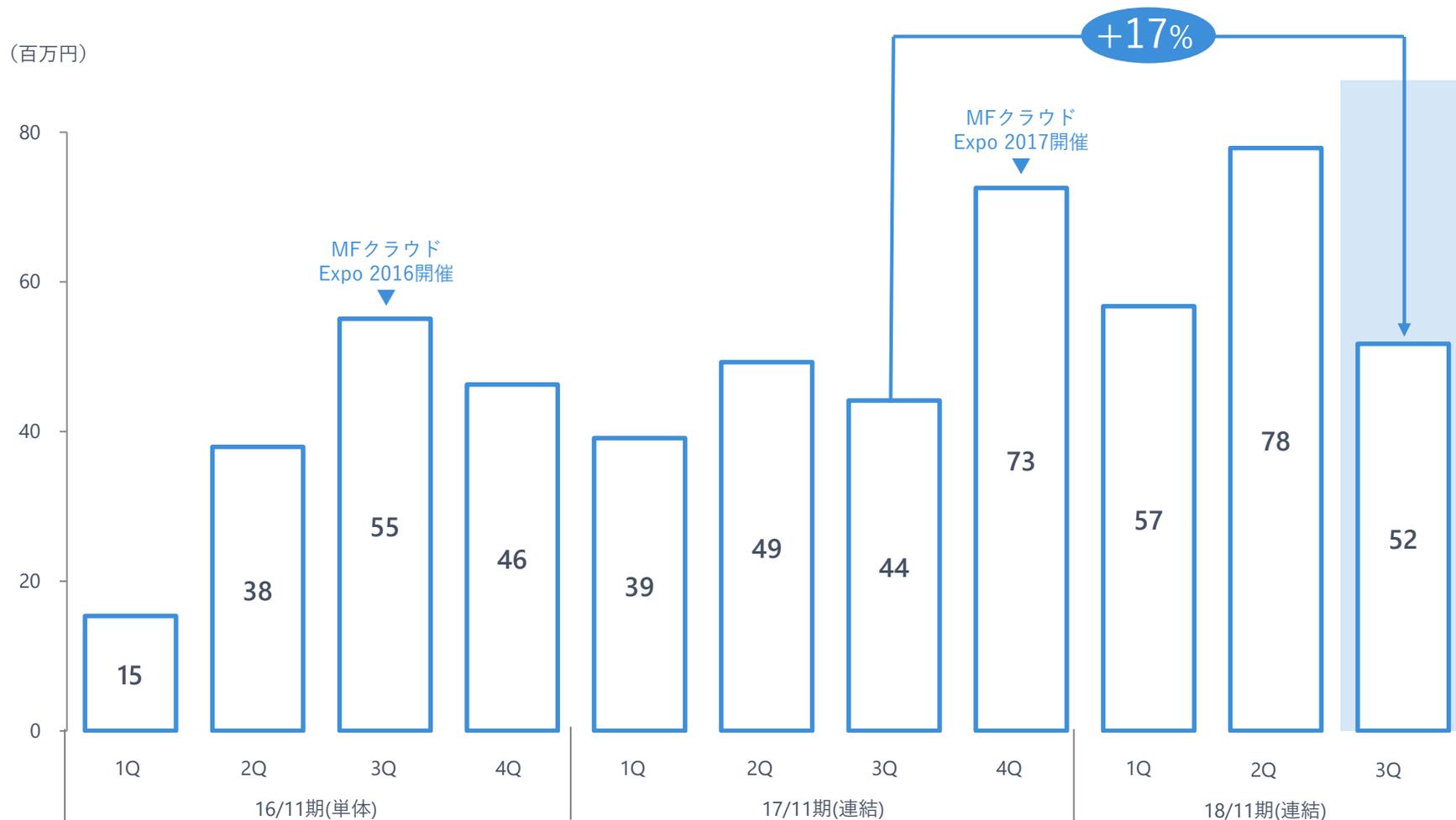
『MFクラウドシリーズ』の販売収入が大きく増加。当四半期においては、IT導入補助金制度による増収効果も発生。



*前期にグループ化したクラビス社が提供する『STREAMED』を、当期より計上開始。『STREAMED』はデータ化した証憑のデータ量に応じた売上変動部分が含まれる。

アライアンス事業収入(売上高推移)

OEM案件の開発収入が多かった直前四半期比では減収するも、前年同期比では17%の増収を達成。



会社設立に必要な書類を無料で作成できる『MFクラウドの自分で会社設立』を提供開始。

定款認証手数料5,000円が今だけ半額！

会社設立をもっとラクに

MFクラウドの
自分で会社設立

ベンチャーキャピタルの出資先であるスタートアップを対象に、『MFクラウドシリーズ』の無償提供や税理士によるメンタリングを提供。今後、連携先ベンチャーキャピタルを更に拡大予定。

スタートアップを支援するプログラム STARTUP BOOSTER 開始のお知らせ

提携ベンチャーキャピタル

if IncubateFund SKYLAND VENTURES The Seed Maker. GMO VENTURE PARTNERS JAFCO

DEEP(ORE) 500 PLUGANDPLAY JAPAN

支援内容

 MFクラウドシリーズ
使い放題プラン提供

 税理士による
メンタリング

MFクラウド(MFクラウドVISAカード)

32

三井住友カードと提携し、当社ユーザーの中小企業や個人事業主を対象とした事業用クレジットカード『MFクラウドVISAカード』の提供を開始。



Money Forward × 三井住友VISAカード

MFクラウドVISAカード

初年度年会費 **無料**

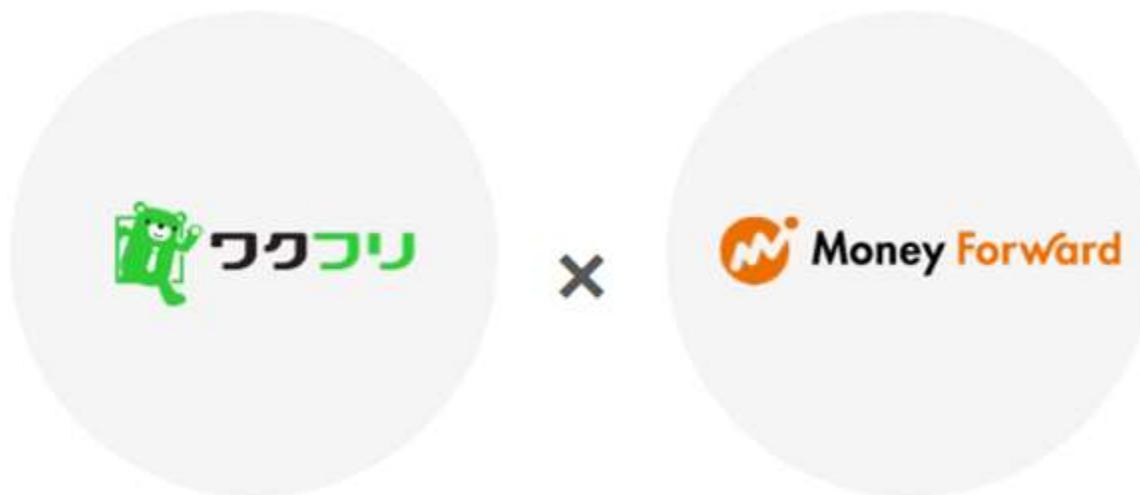
登記簿謄本・決算書 **不要**

MFクラウド(ワクフリ社のグループジョイン)

33

クラウドサービスの導入を支援する株式会社ワクフリをグループ会社化。
福岡を起点に、全国の中小企業のクラウド普及率向上を目指す。

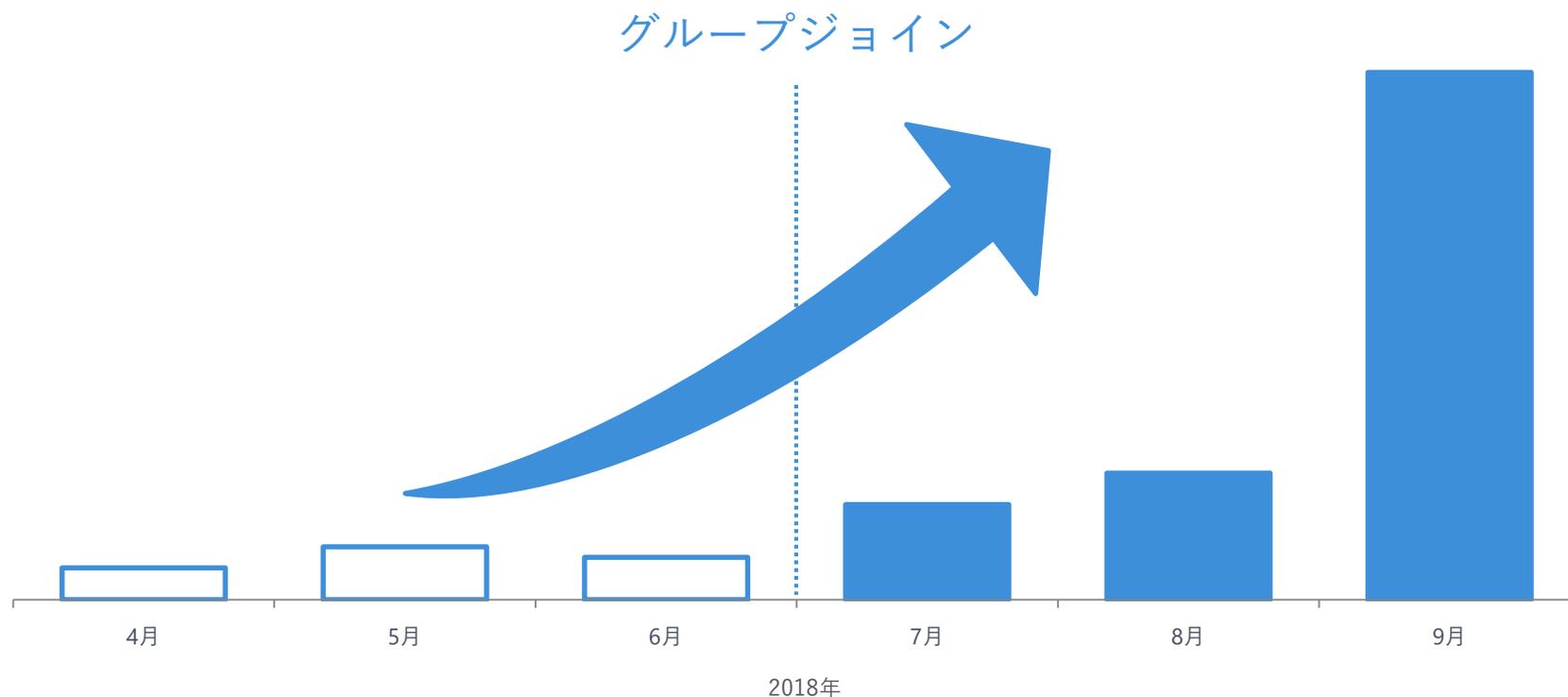
マネーフォワード、クラウドサービスの導入を支援する株式会社ワクフリをグループ会社化



福岡を起点に、全国の中小企業のクラウド普及率向上を目指す

2018年7月にグループ化したナレッジラボ社とのシナジーが顕在化。当社の営業網活用により、『Manageboard』の新規受注社数が大きく成長。

6倍*に増加



*前後3ヶ月合計比較

*2018年7月5日に株式会社ナレッジラボのグループ会社化を発表。

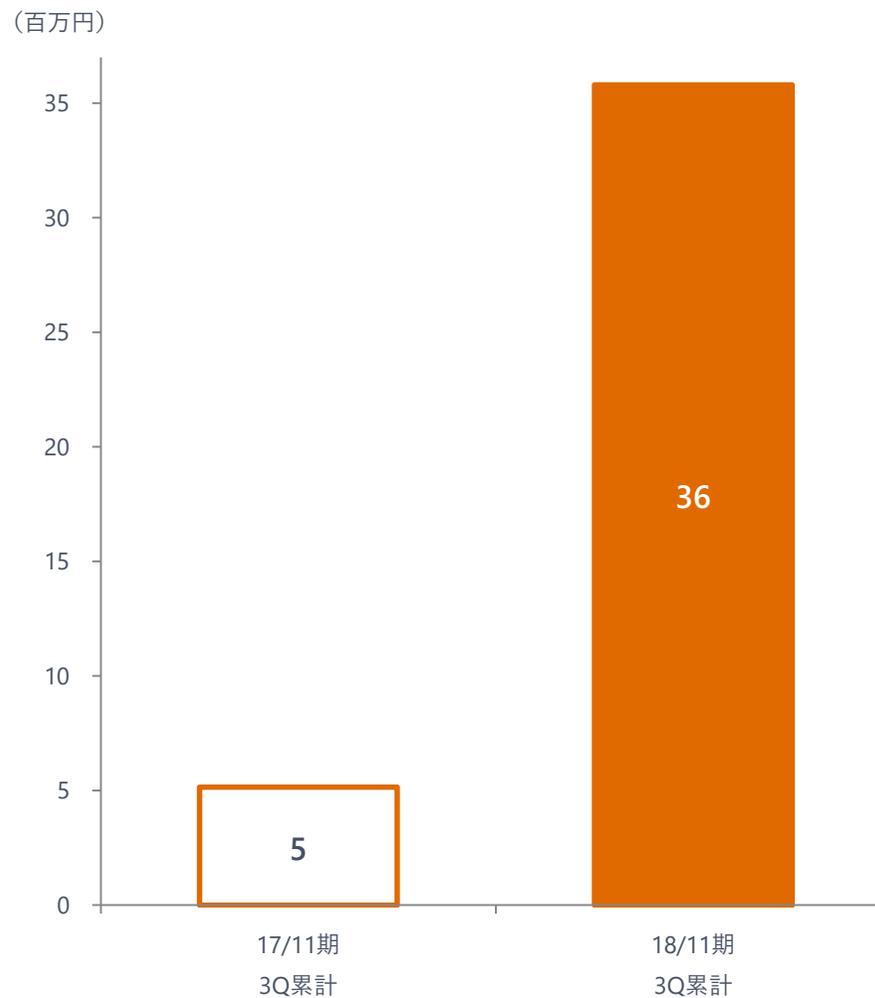


新規サービスその他
業績・トピックス

新規事業その他売上高

37

『MF KESSAI』の売上高の伸びが顕著であり、増収に大きく貢献。

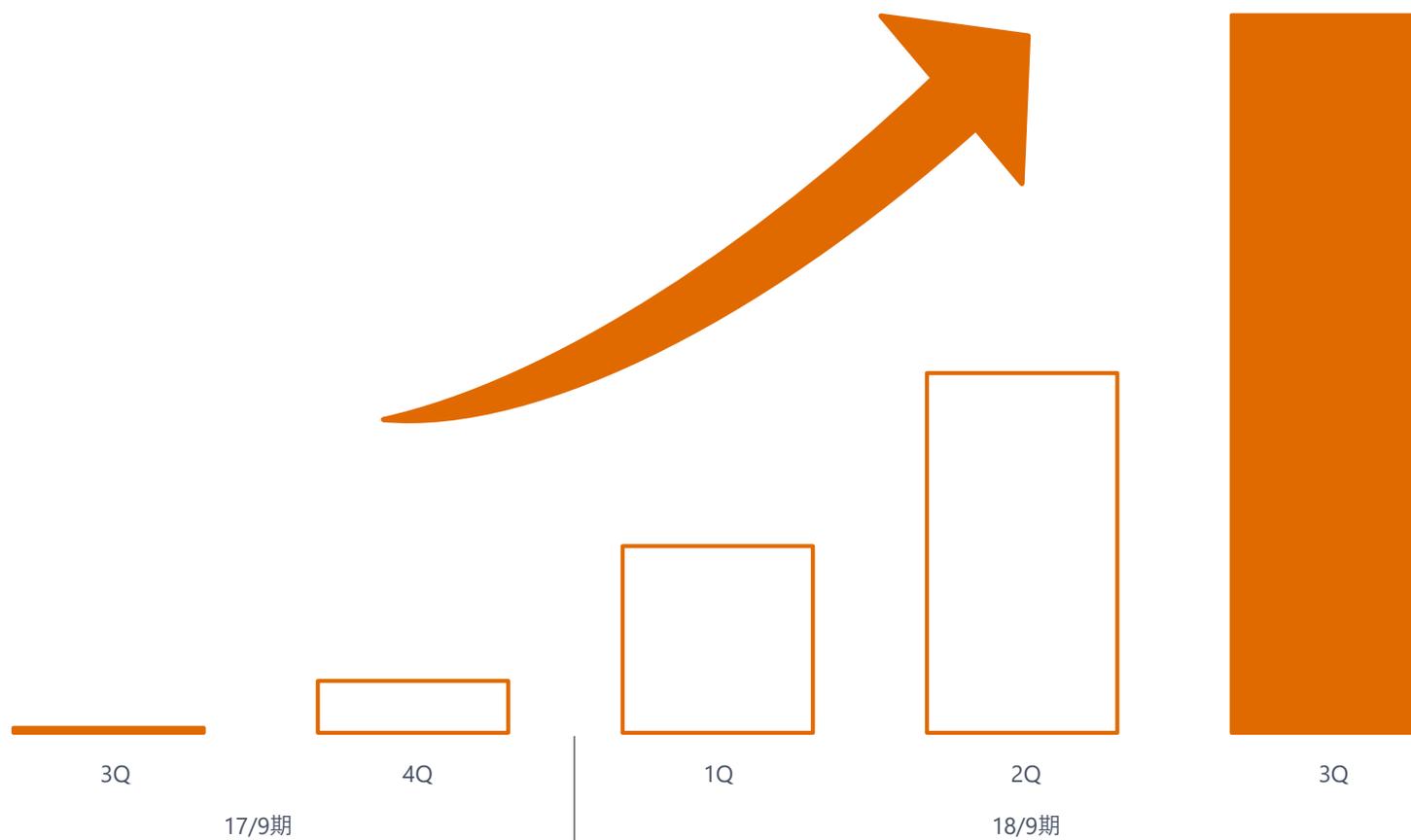


*グループ会社であるMF KESSAI、mirai talkは9月期決算のため、2017年10月～2018年6月実績。なお、上記売上にはMF KESSAI、mirai talk以外の売上も含む。

MF KESSAI(取扱高の成長)

38

順調な新規顧客獲得により、『MF KESSAI』の取扱高が大きく成長。



*MF KESSAIは9月期決算のため、上記1Qは10-12月、2Qは1-3月、3Qは4-6月、4Qは7-9月の期間を意味する。

マネーフォワードフィナンシャル(仮想通貨関連新規事業) 39

『Onbit (オンビット)』をローンチ。仮想通貨に関する基本的な情報を公正で中立的な立場で提供し、仮想通貨取引の経験がない人にもわかりやすく伝えることを目指す。



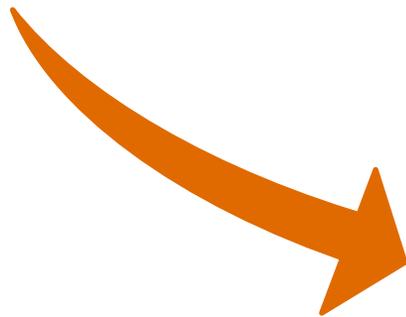
知る
(メディア)

交換する
(交換所)

利用する
(送金・決済)

管理する
(資産管理)

申告する
(確定申告)



ブランディング
プロジェクトの実施

 Money Forward



多様なサービスラインナップ

41

創業6年の間にBtoC(個人向け)・BtoB(法人向け)の両領域でサービスラインナップを急速に拡充。

BtoC領域

PFMサービス



自動家計簿・資産管理サービス



くらしの経済メディア



金融サービスの比較・申込みプラットフォーム

BtoB領域

MFクラウドサービス



事業者向けSaaS型サービスプラットフォーム



クラウド記帳サービス



経営分析クラウド

新規サービス



自動貯金アプリ



お金の相談窓口



企業間後払い決済サービス

急速なサービスラインナップ拡充を踏まえ、ブランド戦略の立案・実行を強化。



受賞歴

- カンヌ国際広告祭・メディア部門ブロンズ / INDIVI 「FITTING AD」
- カンヌ国際広告祭・プロモ部門ショートリスト / Sony Ericsson W41S 「Def-tech 5ヶ所同時多発ライブ」
- 日経広告賞部門賞 / 三菱地所「三菱地所を、見に行こう。」

主なクライアント

- 三菱地所グループ
- 日本経済新聞
- UNIQLO
- 大塚製薬
- 千葉ロッテマリーンズ
- ベネッセ
- PARCO
- GYAO!

ブランディングプロジェクトの目的

ミッション・ビジョンの実現のために、さらなるブランド強化を推進。

事業領域の整理と ミッションの明文化

会社のミッション・ビジョン

領域A

領域B

領域C

会社全体のミッション・ビジョンを
起点とし、各事業領域のミッションを
明文化

『マネーフォワード』への ブランド価値集約・活用

『マネーフォワード』

各種サービス

『マネーフォワード』のブランド価値と
各サービスがもたらすブランド価値を
相互に高めあう



Money Forward Home

- Money Forward ME
- Money Forward Mall
- MONEY PLUS
- SiraTama
- mirai talk

Money Forward Business

- Money Forward クラウド
 - Money Forward クラウド会計
 - Money Forward クラウド確定申告
 - Money Forward クラウド請求書
 - Money Forward クラウド給与
 - Money Forward クラウド経費
 - Money Forward クラウドマイナンバー
- STREAMED
- Manageboard など

Money Forward X

- Money Forward for ○○
- デジタル通帳
- MF Unit

Money Forward Finance

- MF ESSAI
- Money Forward Financial
- Money Forward Fine



お金を前へ。人生をもっと前へ。

Money Forward Home

すべての人生を、便利で豊かにする。

Money Forward Business

ビジネスの成長を加速させる。

Money Forward X

パートナーと共に、新たな金融サービスを創出する。

Money Forward Finance

お金をいい方向へと動かす。

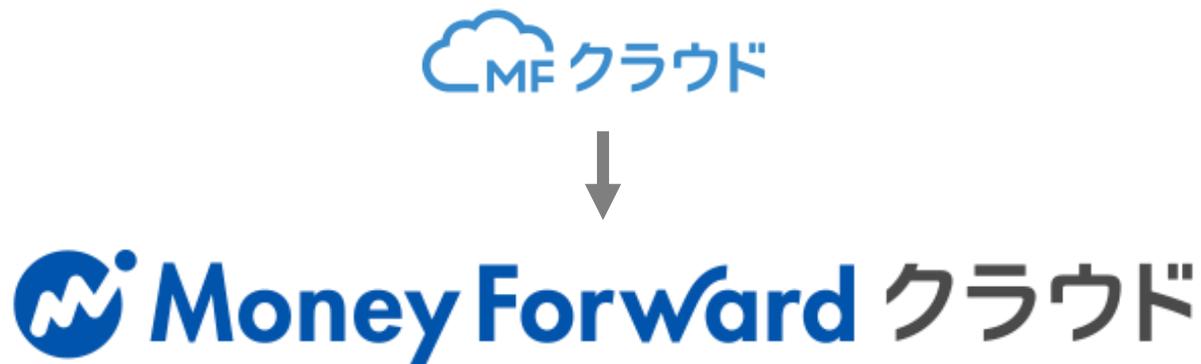
年内に、自動家計簿・資産管理サービス『マネーフォワード』は『マネーフォワード ME』にサービス名を変更予定。



全ての個人の人生に寄り添いたい、
良質なMoney Experienceを提供したい、
という想いを込め、
サービス名に『ME』をつけます。

* 一部サービスの名称やロゴが変更されますが、既存の登録内容やURLなどに関する変更はございません。
利用されている皆様のお手続きはなく、引き続き、安心してサービスをご利用いただけます。

年内に、『MFクラウド』サービスは『マネーフォワードクラウド』に、サービス名を変更予定。



『マネーフォワード』ブランド価値のさらなる向上を目指し、サービス名を『マネーフォワードクラウド』に変更します。

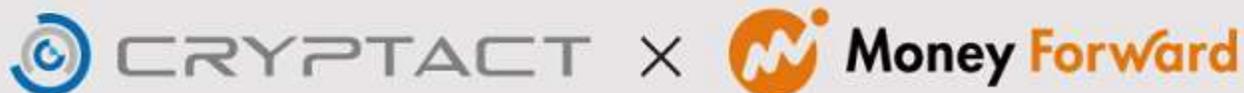
* 一部サービスの名称やロゴが変更されますが、既存の登録内容やURLなどに関する変更はございません。利用されている皆様のお手続きはなく、引き続き、安心してサービスをご利用いただけます。



その他の戦略的取り組み

確定申告のための損益計算サービス等、仮想通貨の投資家支援プラットフォームを提供するクリプタクト社に出資し、資本業務提携を開始。仮想通貨取引を行う個人ユーザーや仮想通貨税務を扱う税理士向けに適切な情報提供を行う。

マネーフォワード、仮想通貨の投資家支援プラットフォームを
提供するクリプタクトと資本業務提携で合意



非連続成長の実現、新規事業の立ち上げに向け経験豊富な金融プロフェッショナルがグループに参画。



内河俊輔
マネーフォワード
執行役員Co-CFO

慶應義塾大学総合政策学部卒業後、1998年4月にソロモン・スミス・バーニー証券会社(現シティグループ証券)に入社。2014年以降はM&A本部長として日本におけるシティグループのM&Aを統括。ニューヨークやロンドンなど約3年間にわたる海外勤務経験をもつ。2018年8月6日にマネーフォワード入社。



家田明
マネーフォワードファイン
代表取締役社長

1988年東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。同年日本銀行に入行。審査局、京都支店、営業局、金融研究所、金融機構局などを経て、2011年から2013年まで鹿児島支店長。2016年に金融機構局金融高度化センター長に就任。2018年9月1日にマネーフォワードに入社。



金融機関との取り組み

電子決済等代行業者の登録を完了

52

10月1日付けで電子決済等代行業者の登録を完了し、金融機関とのAPI接続に向けた準備が完了。また、一般社団法人電子決済等代行事業者協会の代表理事に取締役の瀧が就任。業界の健全な発展とエコシステム形成に尽力。



参照系・更新系ともに国内最多の契約を締結。『未来投資戦略2017』においては2020年までに80行以上の銀行におけるAPI導入が目標。

	金融機関名	個人		法人	
		参照系	更新系	参照系	更新系
1	住信SBIネット銀行	○	○	○	○
2	静岡銀行	○			
3	群馬銀行	○		○	
4	みずほ銀行			○	○
5	セブン銀行			○	○
6	愛知銀行	○		○	
7	三井住友銀行	○		○	○
8	みなと銀行			○	
9	ジャパンネット銀行	○		○	
10	みちのく銀行	○			
11	三菱UFJ銀行	○		○	○
12	栃木銀行	○			
13	千葉銀行	○			
14	北洋銀行	○			
15	大光銀行	○			
16	京葉銀行	○			
17	伊予銀行	○			
18	第四銀行	○			
19	北九州銀行	○			
20	もみじ銀行	○			
21	山口銀行	○			
22	じぶん銀行	○			

*赤字は新規の連携先。

『デジタル通帳』の利用先がさらに拡大。

『マネーフォワード for ○○』：
金融機関お客様向けマネーフォワードを開発



『デジタル通帳』：
金融機関お客様向け通帳アプリを開発



『MFUnit』シリーズ：
金融機関の既存アプリにPFMの各機能を提供



新規公表案件（未リリース案件も含む。未リリース案件のロゴは実際とは異なる場合あり。）

『MFクラウドファイナンス』、『MFクラウド会計・確定申告for BANK』における金融機関との取り組みを引き続き強化。

『MFクラウドファイナンス』：MFクラウドのデータを活用し資金調達をスムーズに実現するサービス



『MFクラウド会計・確定申告for BANK』：金融機関のお客様向け会計・確定申告サービスを開発



中長期戦略・今後の展望



成長戦略

サブスクリプションモデルのため、中長期的なキャッシュフローの現在価値最大化を重視。

人材戦略

優秀な人材の採用および人材育成への継続的な投資。

ブランド戦略

ブランド認知向上への投資、社会貢献とそれを支える企業文化の醸成。

様々な分野への貢献

Fintech領域や、テクノロジーの発展への貢献。

1 ユーザー基盤の更なる拡大

2 ARPUの向上/マネタイズ力の強化

3 新たなサービスライン拡充

4 データ活用による高付加価値化

個人、法人共に国内No.1シェアを確立すべく、ユーザー基盤を拡大。
収益力の強化と同時に、将来の成長に向けた投資も加速。

1

ユーザー基盤の
更なる拡大

- ・『マネーフォワード』の利用者が700万人、課金ユーザー数が16万人を突破。
- ・『MFクラウドシリーズ』の販売収入が大きく増加。
- ・『MF KESSAI』の取扱高が急速に成長。
- ・ブランド価値向上に向け、ブランディングプロジェクトを開始。

2

ARPU*の向上
マネタイズ力の強化

- ・連結売上高は、前年同期比62%と大きく成長。
- ・『MFクラウドシリーズ』のユーザー基盤に、ナレッジラボ社の『Manageboard』のクロスセルが順調に進む。

*ARPU：Average Revenue Per User（ユーザー当たり平均売上高）の略称

サービスラインナップを拡充。データを活用した付加価値の高いサービスの実現へ。

3

新たな
サービスライン拡充

- ・ PFMユーザー向けに自動車保険見直しサービスを近日開始予定。
- ・ 『MFクラウドVISAカード』の提供を開始。
- ・ ワクフリ社のグループジョインにより、クラウドサービス導入支援領域に事業領域を拡大。
- ・ 仮想通貨について知るメディア『Onbit』をローンチ。

4

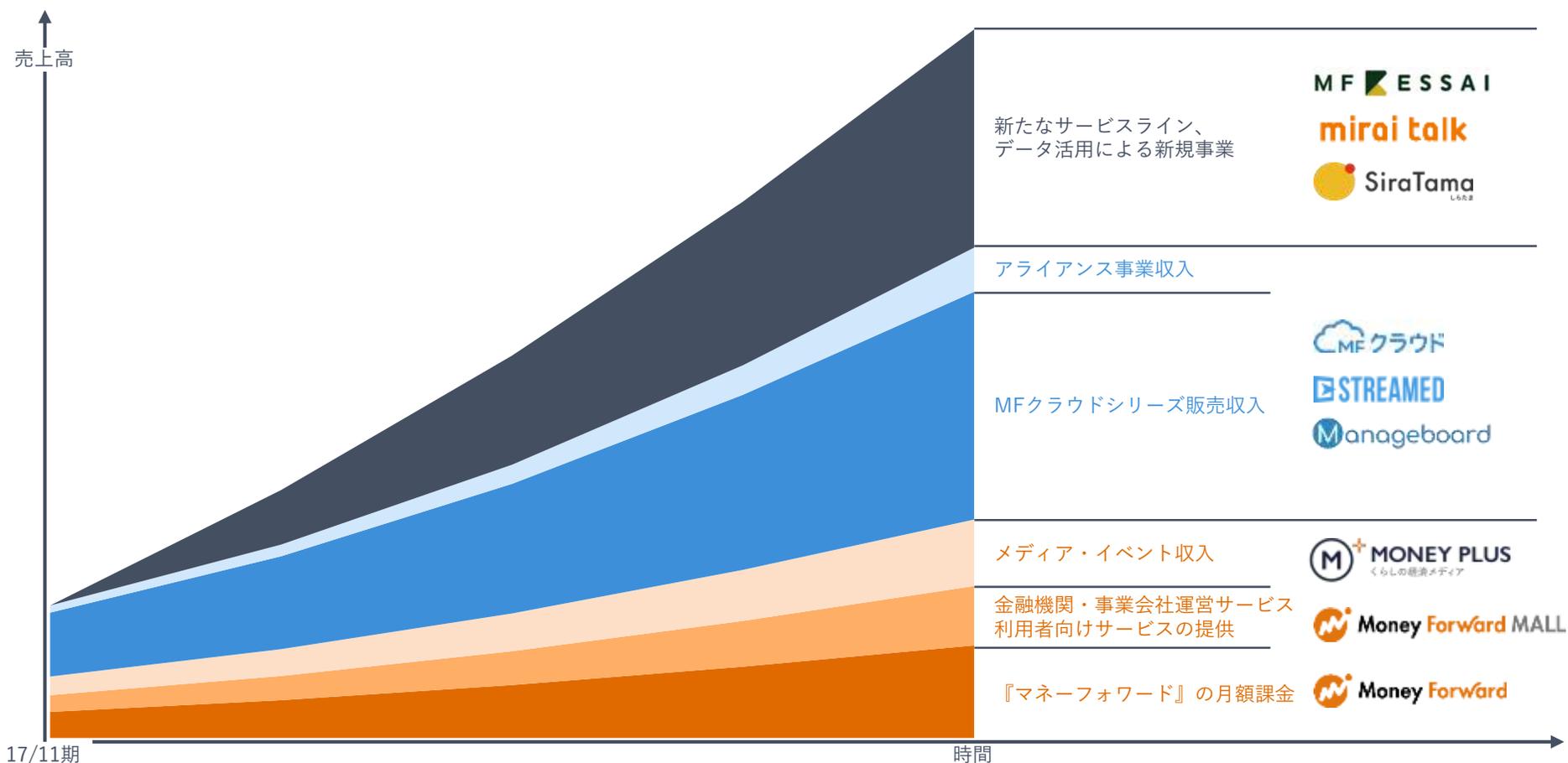
データ活用による
高付加価値化

- ・ 『Manageboard』において、AIによる監査「AIチェック」を提供開始。『MFクラウド会計』と連携し、AIによる監査を自動化。

今後の事業展開イメージ

61

急成長するFintech・SaaS市場において、No.1の地位を確立すると共に、サービス・事業基盤を拡大していく。



Appendix

A modern office interior featuring a large indoor garden with various green plants. In the foreground, there is a long, light-colored wooden table surrounded by several modern chairs in white, grey, and yellow. The ceiling is made of light-colored wood with a grid pattern and recessed lighting. The background shows a glass-walled area with a wooden frame, and a patterned carpet in shades of orange and red. An orange rectangular overlay is on the left side of the image.

会社概要

個人のお金の悩みや不安の解消、事業者の経営改善に貢献し、日本でNo.1の「お金のプラットフォーム」になることを目指しています。

Mission

お金を前へ。
人生をもっと前へ。

Vision

すべての人の
「お金のプラットフォーム」
になる。

Value

User Focus
Technology Driven
Fairness

「お金」は、人生においてツールでしかありません。
しかし「お金」とは、自身と家族の身を守るため、また夢を実現するために必要不可欠な存在でもあります。
私たちは「お金と前向きに向き合い、可能性を広げることができる」サービスを提供することにより、ユーザーの人生を飛躍的に豊かにすることで、より良い社会創りに貢献していきます。



辻 庸介(つじ ようすけ)

代表取締役社長 CEO

京都大学農学部を卒業後、ペンシルバニア大学ウォートン校MBA修了。ソニー株式会社、マネックス証券株式会社を経て、2012年に株式会社マネーフォワード設立。新経済連盟の幹事、経済産業省FinTech検討会合の委員も務める。

【受賞歴】

- 2014年1月 「日本起業家賞2014(The Entrepreneur Awards Japan = TEAJ)」で米国大使館賞受賞。
- 2014年2月 「ジャパンベンチャーアワード2014」にて、JVA審査委員長賞受賞。
- 2014年3月 「金融イノベーションビジネスカンファレンスFIBC2014」にて大賞受賞。
- 2016年11月 Forbes Japan「日本のベスト起業家ランキング」を2年連続受賞。
- 2016年12月 日経ビジネス「2017年日本に最も影響を与える100人」として選出。
- 2018年2月 「第4回日本ベンチャー大賞」にて審査委員会特別賞受賞。

金融 x IT に深い知見ある経営陣。



瀧 俊雄

取締役執行役員

マネーフォワードFintech研究所長

慶應義塾大学経済学部卒業後、野村證券株式会社入社。野村資本市場研究所にて、家計行動、年金制度、金融機関ビジネスモデル等の研究に従事。スタンフォード大学MBA修了。2012年に株式会社マネーフォワード取締役に就任。2016年4月金融庁「フィンテック・ベンチャーに関する有識者会議」にメンバーとして参加。



金坂 直哉

取締役執行役員 Co-CFO

東京大学経済学部卒業。ゴールドマン・サックス証券株式会社の東京オフィス、サンフランシスコオフィスにて、テクノロジー・金融業界を中心にクロスボーダーM&Aや資金調達のアドバイザー業務、投資先企業の価値向上業務に従事。2014年に株式会社マネーフォワード入社。2017年に取締役に就任。



都築 貴之

取締役執行役員

横浜国立大学大学院工学部電子情報工学専攻修了後、ソニー株式会社入社。5GHz帯無線LANルータ開発、PlayStationシリーズ向けコンテンツ配信サービス立ち上げ、著作権保護システム開発、製品セキュリティ対策業務等に従事。2013年に株式会社マネーフォワード取締役に就任。



中出 匠哉

取締役執行役員 CTO

2001年ジュピターショップチャンネル株式会社に入社。ITマネージャーとしてCRMシステムの開発等を統括。2007年、シンプレクス株式会社に入社し、証券会社向け株式トレーディングシステムの開発等に注力。2015年に株式会社マネーフォワードに入社し、Financialシステムの開発に従事。2016年にCTO、2018年に取締役に就任。



市川 貴志

取締役執行役員 CISO

マネックスグループ株式会社にて証券取引システムの開発・運用、子会社合併等の各種プロジェクトマネジメントを担当。その後、大手金融システム開発会社にて、インフラ部門の責任者として為替証拠金取引サイトの新規構築に従事。2012年に株式会社マネーフォワード入社。2017年に取締役に就任。



坂 裕和

取締役執行役員 管理本部長

2001年早稲田大学社会科学部卒業後、国際証券にて2年間営業職に従事。青山学院大学法科大学院を卒業し、2008年弁護士登録。2009年SBI証券入社。法務部を経て、経営企画部にて全社プロジェクトの推進・管理を担当。2012年SBIマネープラザの立ち上げを担当し、同社の管理部門管掌取締役に就任。2016年1月に当社入社。2018年に取締役に就任。

日本有数の知見を誇る社外取締役・顧問を招聘。



車谷 暢昭

社外取締役
株式会社東芝 取締役、代表執行役会長CEO

株式会社三井銀行に入学。株式会社三井住友フィナンシャルグループ副社長執行役員、株式会社三井住友銀行代表取締役兼副頭取執行役員に就任。2017年にシーヴィーシー・アジア・パシフィック・ジャパン株式会社代表取締役兼共同代表に就任。2018年に株式会社東芝 取締役、代表執行役会長CEOに就任。



森川 亮

顧問 (前 社外取締役)
C Channel株式会社 代表取締役社長

日本テレビ放送網株式会社、ソニー株式会社を経て、ハンゲームジャパン株式会社(現LINE株式会社)入社。2007年より代表取締役に就任。2015年C Channel株式会社を設立、代表取締役に就任。株式会社LIFULLの社外取締役も務める。



田中 正明

社外取締役
株式会社産業革新投資機構 代表取締役社長CEO

元三菱UFJフィナンシャル・グループ取締役副社長。2011年から2015年までモルガンスタンレー取締役。「フィンテック・ベンチャーに関する有識者会議」等複数の政府系会議メンバー。2016年2月よりPwC シニアグローバルアドバイザーに就任。2017年2月より金融庁参与に就任。



御立 尚資

顧問 (前 社外取締役)
ボストンコンサルティンググループ
シニア・アドバイザー

日本航空株式会社を経て、BCG入社。2006年から2013年までBCGグローバル経営会議メンバーを務める。楽天株式会社社外取締役、国連世界食糧計画WFP協会理事、京都大学経営管理大学院客員教授なども務める。



倉林 陽

社外取締役
Draper Nexus Venture Partners Managing Director

富士通株式会社・三井物産株式会社にて日米でのベンチャーキャピタル業務を担当後、Globespan Capital Partners及びSalesforce Venturesの日本投資責任者を歴任。2015年3月よりDraper Nexus Venture Partnersに参画しManaging Director就任。



春田 真

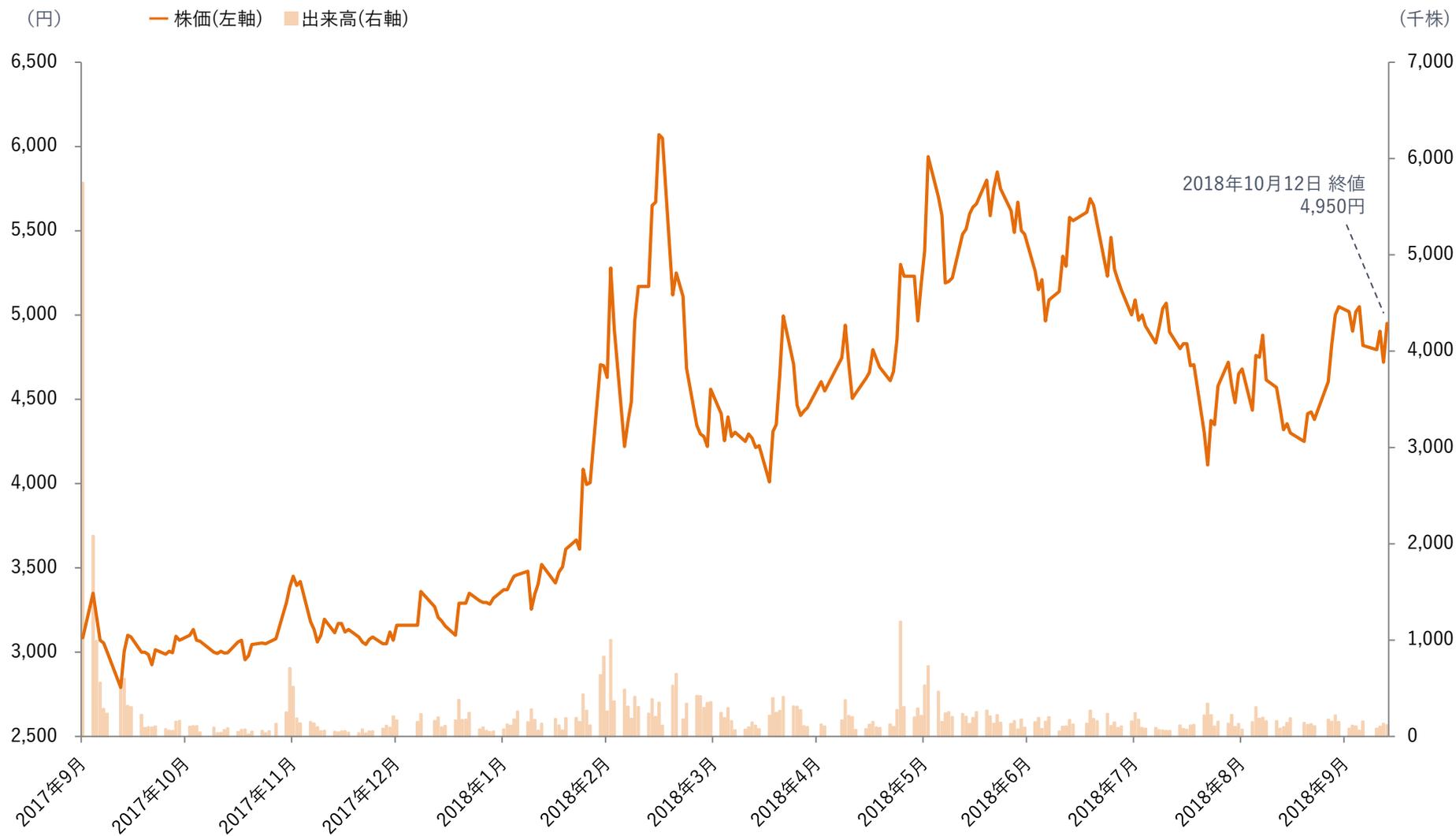
顧問
株式会社ベータカタリスト 代表取締役CEO

株式会社住友銀行に入学。その後、株式会社ディー・エヌ・エーに入社、常務取締役CFOを経て取締役会長に就任。DeNAの上場を主導するとともに大手企業とのJV設立や横浜DeNAベイスターズの買収等M&Aを推進。2015年に株式会社ベータカタリスト設立、代表取締役就任。

	持株比率	主な事業内容
マネーフォワード		PFMサービス、MFクラウドサービスの企画・開発・運営
クラビス	100%	クラウド記帳サービス『STREAMED』の企画・開発・運営
MF KESSAI	100%	企業間後払い決済サービス『MF KESSAI』の企画・開発・運営
MF HOSHO	100%	『MF KESSAI』事業における債務保証・信用調査の実施
mirai talk	90%	お金のスクール、ライフプラン診断事業『mirai talk』の企画・運営
マネーフォワードファイン	100%	AI融資審査モデルの開発
マネーフォワードフィナンシャル	100%	ブロックチェーン・仮想通貨関連事業の企画・運営・開発
ナレッジラボ	51%	経営分析クラウド『Manageboard』の企画・開発・運営、財務戦略コンサルの実施
ワクフリ	56%	クラウド活用サポート、バックオフィス業務改善コンサルの実施
MONEY FORWARD VIETNAM	100%	サービス開発拠点

*ナレッジラボ、ワクフリ、MONEY FORWARD VIETNAMは当第3四半期末より連結開始。

上場以来の当社株価・出来高推移



*2018年10月12日時点



サービス概要

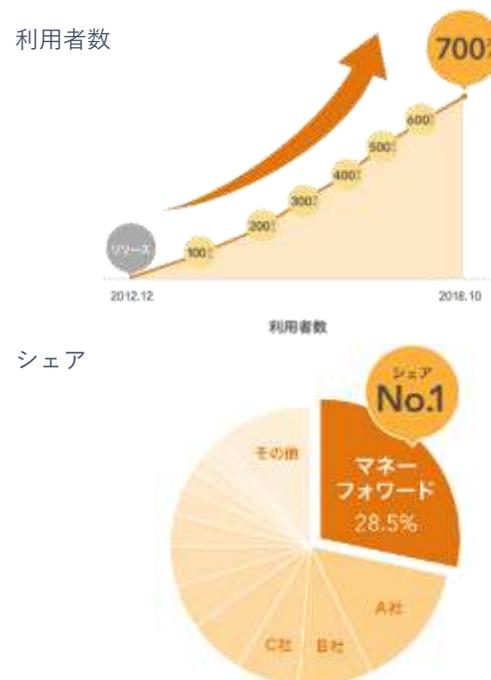
家計簿アプリシェアNo.1。利用者数は700万人を突破し、家計簿アプリ利用者の約4人に1人は『マネーフォワード』を利用。

対応数No.1(*) 2,650以上の金融関連サービスに対応。
口座一括管理で自動で家計簿作成



*自社調べ、2018年9月30日現在

利用者数およびシェア



出所：2017年03月23日～2017年3月27日、楽天リサーチ
「現在利用している家計簿アプリ」
調査対象者：20～60代家計簿アプリ利用者685名

難しく捉えられがちなお金の話を、読者が自分事とすることを目的としたメディア。お金を賢く使いこなすために、幅広い情報をお届け。



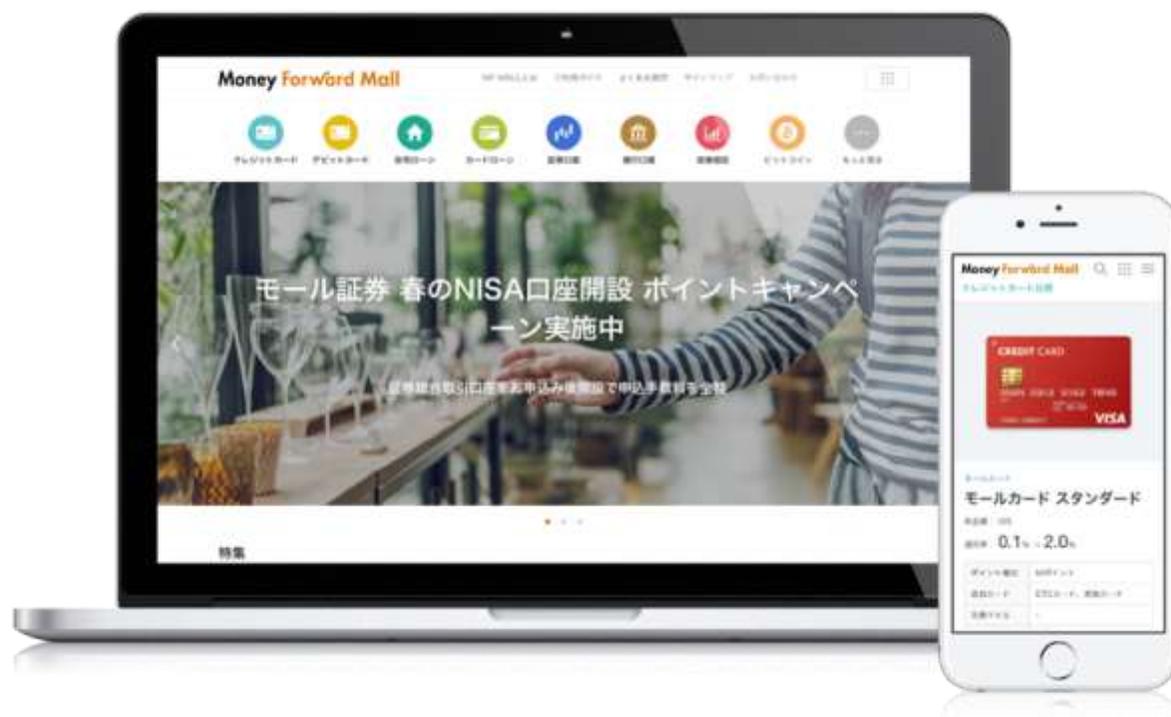
日々のくらし、人生を豊かにする「くらしの経済メディア」



金融サービスの比較・申込みプラットフォーム 『Money Forward MALL』

73

クレジットカードや証券口座など、あらゆるお金のサービスを比較・検討し、申し込みができるサービス。



バックオフィス業務における領域を包括的にカバーするサービスを提供する企業向けSaaS型サービスプラットフォーム。



MFクラウド会計 MFクラウド確定申告
MFクラウド給与 MFクラウド経費 MFクラウド請求書
MFクラウドマイナンバー MFクラウドファイナンス

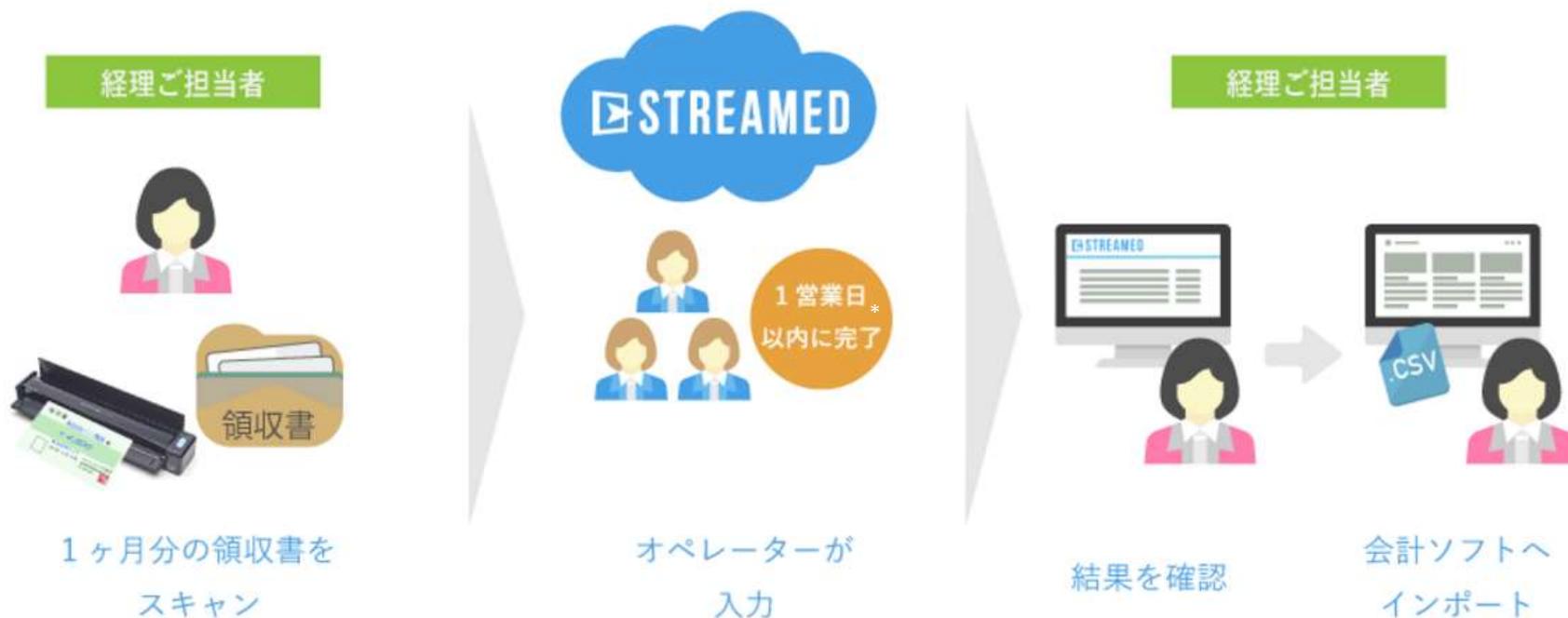
クラウドコンピューティングの普及を背景に、これまで多額の初期投資を必要としていたシステムをSaaS形態で提供することで、小規模事業者から大企業まですべての事業者へITの恩恵をもたらします。

スキャナで領収書等の画像を取り込むだけで、オペレーターが正確かつ迅速にデータ入力するクラウド記帳サービス。

2017年11月にグループ化したクラビス社が提供。

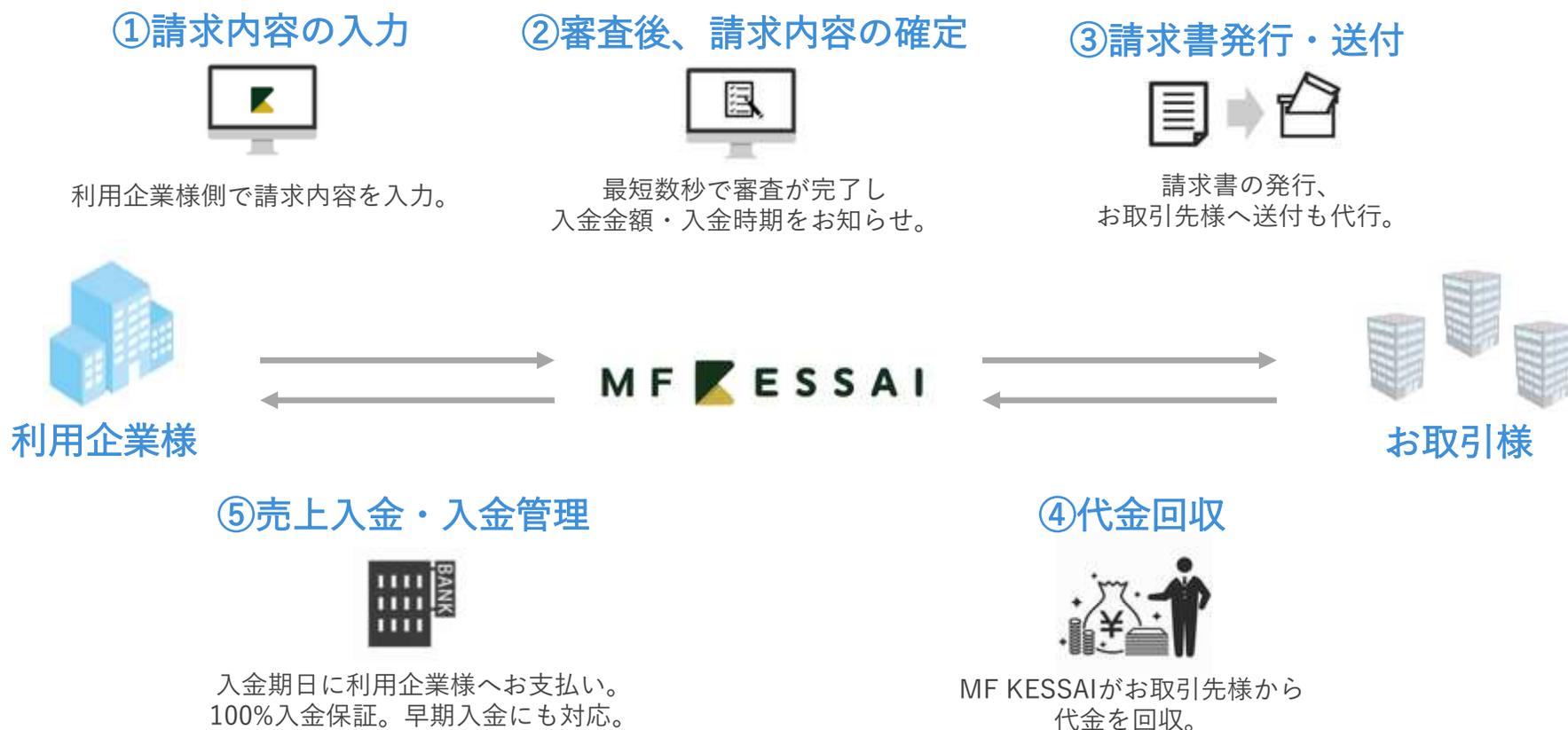
取引データの収集

会計ソフトへの入力



*営業日の10時から19時依頼分が対象。

企業の請求回収代行業務の完全なアウトソーシングと資金繰りの改善を実現するサービス。2017年6月リリース。



“未来のおかね”を学べるお店『mirai talk』

77

『mirai talk』1号店を新宿にオープン。『マネーフォワード』のデータと、FPの知見を組み合わせ、「お金の体質改善」を目指してライフプランや家計改善アドバイスを提供。



mirai talk

なぜか貯まらない
赤字家計から、
しっかり貯まる
かしこい家計に!

本気で家計を変えたい人へ。

新・貯まる家計養成プログラム

12万円以上の
家計改善を
保証! ※

※ 改善保証はスタンダードコース、コンプリートコースが対象です。初回家計診断でお客様ごとの改善保証額を決定します。保証内容および保証条件についてはお問い合わせください。

人生を楽しむ貯金アプリ『しらたま』

78

「日々の生活をもっと楽しく、ちょっとだけ贅沢に」（しら）ずにお金が（たま）る自動貯金アプリ。2018年5月にはAndroid版もリリース。



本資料の取り扱いについて

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社グループの関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。